



公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
ニュース No.106 (145)

2025. 8. 11

- 発行 公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会
- 発行人 平名章二
- 編集 原口拓人
- 事務局 〒890-0063 鹿児島市鴨池1丁目48-25
TEL 099 (203) 0860
FAX 099 (203) 0865
- 印刷 中礼印刷

総会員 2,494名 (7/1 現在)

URL : <http://infokpta.com/>

e-mail : infokpta@po.minc.ne.jp



蒲生（御仮屋門）

目次

鹿児島県理学療法士協会 令和6年度事業報告・計画・収支報告	2
会長あいさつ・新役員・組織人事	29
鹿児島県POS連絡協議会 事業報告・収支決算報告	34
第38回鹿児島県理学療法士学会 報告	41
第38回鹿児島県理学療法士学会 受賞者紹介	42
学術誌「理学療法かごしま」優秀論文賞の受賞について	44
第39回鹿児島県理学療法士学会のお知らせ	45
令和7年度 新卒者オリエンテーション	48
保険政策企画部会報告	49
研修会 報告	50

スポーツ事業部 業務委託報告	52
スポーツ事業部 研修会のご案内	53
西薩地区 研修会報告	54
施設訪問	55
職能局ヘルスケア事業部 アンケート調査報告	56
令和7年度 研究助成採用決定について	57
『理学療法かごしま』へのご投稿のお願い	58
鹿児島県訪問リハビリテーション研究会からの研修会案内	58
私と私の職場	59
事務局だより・編集後記	60

令和6年度 事業総括報告

(公社) 鹿児島県理学療法士協会

会長 平名 章 二

まずは会員各位には平素から県協会運営に協力頂き感謝申し上げます。

さて、令和6年度は新組織体系に改組し、社会局を職能局へと改組変更して県民への保健福祉充実のため寄与する活動の拡充を行いました。高齢者支援・障害者支援はもちろんのこと、学校保健・スポーツ事業への活動拡大を図りこれまで以上に全世代に寄与することを目指し、何より学術研鑽を基礎として個々がスキルアップしながら県民の医療保健福祉に還元することに重点を置き運営致しました。

各自治体においての地域リハ関連事業や県におけるリハビリテーション支援活動等の多岐にわたる事業運営を受託し滞りなく実施しました。またスポーツ活動支援においては昨年度に続き県高野連との協業事業と県警のケガ予防・テーピング指導など多くの事業提供ができました。特に高野連との事業では奄美地区でも事業提供され広域的に展開できました。これらは一重に会員諸氏の日常臨床での努力と思いの結晶であろうと思います。離島をかかえる当県協会としては、離島会員の事業サポートに腐心するところですが、会員達の理解と協力・努力無しでは達し得なかったと思います。

これらの事業は会員の日々の研鑽無くしてはうまくいきません。士会における大きな学術イベントである第38回鹿児島県理学療法士学会は400名余りの参加を得て盛大に開催されました。会員の熱心な意見交換と聴講者の真剣な眼差しを見て、明日からの会員達のスキルアップは間違いないと私は強く感じました。湯地学会長はじめ学会準備に携わってくれた会員のご尽力に感謝します。

当会としては学術活動の提供を通じて学術向上に寄与していますが、多忙な臨床で受講にも苦勞する場面もあると思います。対面での学術活動に重点を移していますが、受講機会の確保のためハイブリッド受講も可能としているものも多くありますので、是非県民の健康、医療福祉に寄与するため引き続きの研鑽活動をよろしくお願いします。

地区活動については、組織体系の変更で西薩地区を新設しました。かねてから西薩地区の地区活動や地区の病院・施設に所属される会員の活発な活動は良く耳にしております。令和7年度の第39回鹿児島県理学療法士学会はこの西薩地区で開催されます。新地区の活発な活動と学会の熱気を期待したいと思います。他地区におかれましても引き続き地区活動の充実に尽力をお願いします。

今年も会員一人一人の地道に積んできた研鑽活動により、しっかりと県民の健康・保健福祉の向上に寄与することができた1年であったと振り返るところです。我々は何よりも学術研鑽を積み重ねて県民医療・福祉に貢献するものであります。令和6年度も学術活動を礎として滞りなく事業執行致しました。どうぞ本活動報告に担当者の「思い」を感じていただき叱咤激励、建設的なご意見を頂ければと思います。

同時に「会員の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、県民の医療及び保健の充実並びに福祉の向上に寄与すること」の目標を達成するため、どうぞ会員諸氏の変わらぬ協力をお願いします。

令和6年度に重点課題とした項目

- (1) 新組織運営による連携・業務効率化と内容の深化
- (2) 学術研究、臨床力向上の機会推進
- (3) 地区保健医療・福祉・予防活動の充実・推進
- (4) スポーツ支援活動の推進
- (5) 学校保健・体育活動の支援推進
- (6) 行政各所との協働による地域活動と職能活動の推進と拡大

令和6年度 事業報告

事業名

I. 公益事業

1. 医療・保健及び福祉の発展に寄与する事業

後援

鹿児島県臨床工学技士会第24回心電図セミナー
快護生活フェス！福祉機器展&セミナーinかごしま
鹿児島県がん診療連携拠点病院機能強化事業 市民公開講座
南九州ME研究会第14回呼吸療法セミナー
鹿児島高次脳機能研究会
第38回鹿児島リハビリテーション医学研究会
つながる想いinかごしま2025
奄美共生プロジェクト共催

委員の派遣

令和6年度鹿児島市介護給付適正化事業に係る指導者3名
令和6年度鹿児島市在宅医療・介護の連携検討会議
鹿児島市在宅医療・介護の連携推進協議会委員
鹿児島県地域医療介護総合確保基金（介護分）委員会
日置市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定評価委員会
第14回口腔機能管理推進協議会
鹿児島県介護実習普及センター運営協議会
介護認定審査会委員（薩摩川内市3 曾於地区3 鹿児島市17 始良伊佐地区6 南薩介護
保険事務組合9 北薩広域行政事務組合6 さつま町1 指宿市3
日置市7 大隅肝属広域事務組合8 奄美7）
障害支援区認定審査委員（鹿児島市3 始良伊佐地区2 北薩広域行政事務組合1
大隅肝属広域事務組合2 日置市2）

講師派遣

看護の日・看護週間健康フェスタPT2名
指宿市発達相談会及び赤ちゃん教室における発達相談会
第61回九州各県議会議員親善野球大会PT2名
生活協同組合コープかごしま
高野連肩肘検査実施協力
リハ栄養口腔連携研修会発表者
第12回すこやか長寿まつり ねんりんステージ
第14回呼吸療法セミナー
薩摩おいどんリーグ2025普及活動障害予防教室
介護予防教室（介護実習普及センター）PT延8名

委託契約

十島村 運動機能向上教室
十島村保健事業と介護予防事業との一体的な実施を踏まえた高齢者の保健事業
鹿児島市社会福祉協議会 鹿児島市地域活動支援センターゆうあい館理学療法士派遣業務委託
鹿児島県警 コンディショニング術講義業務委託
鹿屋市骨折予防支援事業業務委託

(小児・学校保健事業部)

・第1回発達サポート研修会

開催日：令和6年8月3日(土) 10:00～11:30 鴨池公民館 参加者18名
令和6年8月4日(日) 10:00～11:30 ビデオ開催(録画放送) オンライン参加27端末

テーマ：こどもの育ちを支える療育の役割～医療とのつながりを考える～

講師：地域生活支援センターあさひが丘 水流 かおる 先生

対象：県内の保育・幼稚園関係者、療育関係者、保護者 等

・第2回発達サポート研修会

開催日：令和6年12月21日(土) 10:00～11:30 谷山市民会館

参加者 対面1名+オンライン参加20端末(1端末から複数人参加を含む)

テーマ：小学生におけるスポーツ活動でのケガ予防

講師：理学療法士 轟原 与織 先生 (今村総合病院)

形式：ハイブリッド開催(対面+オンライン)

会場：谷山市民会館

対象：県内の小学校教諭、養護教諭、その他

・部会 年3回開催

・依頼のあったティール大会(6/9開催予定)については雨天にてサポート中止

(高齢者事業部)

公開講座

日時：令和6年9月29日 9:30～12:30

開催場所：県民交流センター 大ホール

講習会内容：体に優しい介護技術

参加者：24名

部会 3回開催

鹿児島県社会福祉協議会 介護技術講習会への講師派遣協力

(保険政策企画部)

診療報酬問い合わせ対応 1件

部会4回

九州ブロック政策活動委員会参加(R6/11/9 会場 佐賀県佐賀市SAGAアリーナ)

(スポーツ事業部)

ティール大会サポート事前打ち合わせ会議

ティール大会サポート事業雨天中止

高校野球連盟肩肘検診事前打ち合わせ会議

鹿児島県警コンディショニング術事前研修会

日時：10月20日(日) 9:00～12:00 会場：鹿児島大学

講師：轟原 与織 PT 参加者：18名

鹿児島県警コンディショニング研修会 延べPT9名従事

鹿児島県高校野球連盟肩肘検診事前研修会(鹿児島地区) 会場：鹿児島大学 講師：吉田研吾PT

11月24日(日) 9:00～12:10 参加者：23名 13:30～16:40 参加者：17名

鹿児島県高校野球連盟肩肘機能検査実施 12/8. 12/29. 1/5. 1/12(奄美地区) . 1/19

会場：今村総合病院、奄美地区は県立大島高校 延べPT95名従事、参加高校生 延べ268名

薩摩おいどんリーグ普及活動 障害予防教室 会場：平和リース球場 会議室

3月9日(日) 10:00～11:30 PT3名従事 参加者：13名(小中学生・保護者)

2. 職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

地域リハビリテーション活動、地区会員の学術・技術の向上、地区会員の情報共有や連携・組織化(ネットワークの構築)

(始良地区)

第1回 地区研修会(Web開催)

- 日 時：5月24日（金）19:00～21:00
 テーマ：『徒手的理学療法学の基本』
 講 師：福谷 和隆 PT 参加者：70名
- 第2回 地区研修会（対面開催）
 日 時：7月6日（土）15:00～18:00
 会 場：鹿児島第一医療リハビリ専門学校
 テーマ：『膝関節障害に対する徒手療法（触診・評価・治療）』
 講 師：白尾 泰宏 PT 参加者：28名
- 第3回 地区研修会（Web開催）
 日 時：令和7年1月31日（金）19:00～21:00
 テーマ：『発達障害児への支援と連携』
 講 師：小山 尚宏 PT 参加者：56名
- 第1回 地区症例検討会（Web開催）
 日 時：11月1日（金）19:00～20:30 参加者：80名
 地区会議・運営打ち合わせ10回開催

（北薩地区）

- 第1回 研修会
 日 時：11月27日（水）18:30～20:30 開催方法：Web開催研修会
 テーマ：児童発達支援センターにおける理学療法士の役割について①
 ・児童発達支援センターとは・神経発達症とは
 講 師：鈴木 佳子 PT 参加者63名
- 第2回 研修会
 日 時：12月20日（水）18:30～20:30 開催方法：Web開催研修会
 テーマ：児童発達支援センターにおける理学療法士の役割②
 ・地域から医療機関へ期待すること・発達性協調運動症とは
 講 師：鈴木 佳子 PT 参加者40名
 地区会議3回

（鹿児島地区）

- 第1回 地区研修会
 日 時：8月30日（金）19:00～20:00 Web開催
 テーマ：能登地震災害 JRAT活動派遣の経験
 講 師：久米 康隆 PT 参加者：47名
- 第2回 地区研修会
 日 時：10月4日（金）18:30～20:00
 会 場：鹿児島医療技術専門学校
 テーマ：高次脳機能障害に対する理学療法の関わり方 ～半側空間無視～
 講 師：河野 綾乃 PT 参加者：21名
- 第3回 地区研修会
 日 時：令和7年1月24日（金）19:00～20:30
 会 場：天陽会中央クリニック
 テーマ：肩関節周囲炎への対応 ～基本的徒手操作の実技～
 講 師：鹿島 正広 PT 参加者：22名
- 第1回 症例検討会 9/6 19:00～ Web開催 参加者：47名
 第2回 症例検討会 9/20 19:00～ Web開催 参加者：41名
 第3回 症例検討会 10/11 19:00～ Web開催 参加者：27名
 第4回 症例検討会 10/25 19:00～ Web開催 参加者：30名
 第5回 症例検討会 11/8 19:00～ Web開催 参加者：21
 第6回 症例検討会 11/20 19:00～ Web開催 参加者：66名名

第7回 症例検討会 12/6 19:00～ Web開催 参加者：29名
第8回 症例検討会 12/20 19:00～ Web開催 参加者：54名
第9回 症例検討会 2/28 19:00～ Web開催 参加者：32名
地区会議12回開催

第41回かごしま市民健康まつり実行・運営委員会への参加

第41回かごしま市民健康まつりへの参加 PT 2名

日 時：10月26日（土）13:00～15:00

(大隅地区)

第1回地区研修会

日 時：7月11日（木）18:30～19:30 開催場所：Web開催（zoom）

テーマ：姿勢と運動の呼吸への影響

講師：西 賢一郎 PT 参加者：43名

第2回地区研修会

日 時：11月14日（木）18:30～19:30 開催場所：Web開催（zoom）

テーマ：仙腸関節障害による腰痛

講師：新 丈司 PT 参加者：41名

第3回地区研修会

日 時：12月6日（金）18:30～19:30 開催場所：Web開催（zoom）

テーマ：理学療法士による病院と地域のスポーツサポート

講師：轟原 与織 PT 参加者：28名

第1回症例検討会

日 時：10月31日（木）18:30～ 開催場所：Web開催（zoom） 参加者：47名

第2回症例検討会

日 時：2月20日（木）18:30～ 開催場所：Web開催（zoom） 参加者：43名

地区会議4回開催

(南薩地区)

第1回 地区研修会 会場：菊野病院

日 時：9月28日（土）18:30～20:00

テーマ：臨床で知っておきたい、基本的な肩関節の理学療法評価
～エコーを用いてより分かりやすく～

講師：谷口 孝平 PT 参加者：25名

第2回 地区研修会（Web開催(zoomにて)）

日 時：11月28日（木）19:00～20:00

テーマ：老健での理学療法士の関わり、多職種連携について

講師：平岡 明彦 PT 参加者：44名

第1回 症例検討会 9/28 20:10～ 会場；菊野病院 参加者：15名

第2回 症例検討会 12/10 19:30～ Web開催 参加者：38名

地区会議4回開催

(西薩地区)

第1回 地区研修会（Web）

日 時：10月18日 19:00～20:00

テーマ：肩関節の理学療法 ～アライメント異常に着眼した評価と治療～

講師：松元 亮太 PT 参加者48名

第2回 地区研修会 会場；神村学園専修学校

日 時：12月6日 19:00～20:30

テーマ：肩関節の理学療法 ～アライメント異常に着眼した評価と治療（実技編）～

講師：大久保 鉄男 PT 参加者24名

第1回 症例検討会 10/18 20:10～ 参加者43名
地区会議6回

(種子屋久地区)

第1回 地区研修会

会 場：種子島医療センター

日 時：令和7年1月18日(土) 17:30～19:30

テーマ：『理学療法における基本的なセラピューティックタッチハンズオンセミナー』

講 師：弓場 裕之 PT 参加者：23名

症例検討会2回検討するも希望者なしのため中止

(奄美地区)

第1回 地区研修会 会場：デイサービス和月龍郷

日 時：9月28日(土) 14:00～17:00

テーマ：脳の機能解剖と歩行のハンドリング

講 師：鈴木 伸洋 PT 参加者：15名

第2回 地区研修会 会場：デイサービス和月龍郷

日 時：令和7年2月1日(土) 14:00～17:00

テーマ：徒手理学療法 臨床推論と膝関節の触診・評価・治療

講 師：白尾 泰宏 PT 参加者：10名

(学術研修部)

○第1回研修会

日 時：6月30日(日) 10:00～13:00

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント教室

テーマ：整形外科医と理学療法士が共有したい肩関節の知識

講 師：梶 博則 先生(天陽会中央病院；医師)

参加者：61名 オンデマンド配信参加者28名

○第2回研修会

日 時：7月21日(日) 9:30～16:30

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント教室

テーマ：内部障害の理学療法

講 師：大重 匡 PT 坂元 将也 PT 宇都 良大 PT 参加者：21名

オンデマンド配信参加者28名

○第3回研修会

日 時：10月5日(土) 13:00～16:10 10月6日(日) 9:30～12:40

会 場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟503講義室

テーマ：がん理学療法 ー退院支援，在宅支援，就労支援のための基本的な関わり方ー

講 師：高倉 保幸 先生(埼玉医科大学)

参加者：12名(学生含む) オンデマンド配信参加者24名

○第4回研修会

日 時：12月1日(日) 9:30～12:40

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント教室

テーマ：胸郭運動システムの基礎

講 師：柿崎 藤泰 先生(文京学院大学大学院)

参加者：55名 オンデマンド配信参加者27名

○第5回研修会

日 時：令和7年2月2日(日) 10:00～17:00

会 場：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント教室

テーマ：下肢装具を用いた脳卒中片麻痺者の歩行能力再建

講師：阿部 浩明 先生（福島県立医科大学）

参加者：45名 オンデマンド配信参加者：44名

(学術誌部)

第2巻 12編J-STAGE公開

第3巻論文受付開始し、3編の論文投稿あり、J-STAGEにて公開

部会5回

(学術支援部)

令和6年度研究助成の審査を行い、4件を採択

令和7年度研究助成募集

(第38回鹿児島県理学療法士学会)

令和7年2月9日(日)

会場：ライカ南国ホール

参加者 374名(対面：会員370名、非会員1名、他職種3名

オンデマンドはR7年度4月に予定)

教育講演「肉眼解剖・機能解剖学からひも解く運動器疾患の評価と治療」

新潟医療福祉大学 江玉 睦明 先生

特別講演「「理学療法士及び作業療法士法」～その醜い生い立ちと未来～」

前日本理学療法士協会 会長 半田 一登 先生

公開講座「波乱万丈物語～未来へ向けて～」

声楽家 米良 美一 氏

一般演題 35演題(口述 12題 ポスター 23題)

(専門領域研修部)

運動器系)

① 日時：6月9日(日) 9:00～12:10

会場：今村総合病院

テーマ：臨床推論と腰部に対する徒手理学療法(基本編)

講師：白尾 泰宏 PT 参加者：18名

② 日時：12月15日(日) 9:00～12:10

会場：今村総合病院

テーマ：足部機能障害の診方(基本編)

講師：白尾 泰宏 PT 参加者：18名

生活環境系)

① 日時：7月21日(日) 9:00～12:10

会場：いづろ今村病院

テーマ：理学療法士が知っておきたい基本動作のポイント(動作介助も含めて)

講師：土井 敦 PT 参加者：10名

② 日時：11月16日(土) 14:00～17:10

会場：鹿児島医療技術専門学校 平川校

テーマ：理学療法士にも知ってほしい排泄のこと

～明日から使える排泄動作介助とリハビリテーション～

講師：吉留 千恵 PT 参加者：11名

神経系)

① 日時：8月4日(日) 9:00～12:10

会場：鹿児島医療福祉専門学校

テーマ：認知神経リハビリテーションの基礎と実技～イントロダクション～

講師：上橋 秀崇 PT 参加者：18名

② 日 時：3月2日(日) 9:00~12:10

会 場：鹿児島医療福祉専門学校

テーマ：症状に応じた認知神経リハビリテーション

講 師：上橋秀崇 PT 参加者：18名

循環器系)

① 日 時：9月1日(日) 9:00~12:10

会 場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟4階402講義室

テーマ：心不全の理学療法～病態，アセスメント，理学療法介入まで～

講 師：中尾 周平 PT、宮崎 晋宏 PT、菅原 直美 PT 参加者：31名

② 日 時：3月9日(日) 9:00~12:10

会 場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟6階 インテリジェント講義室

テーマ：循環器疾患の理学療法besides heart disease

～「末梢動脈疾患」「腎不全」を中心に～

講 師：宇都 良大 PT、上口 崇 PT、西 洋樹 PT 参加者：29名(うちOT:1名)

小児系)

日 時：11月17日(日) 9:00~12:10

会 場：鹿児島医療福祉専門学校

テーマ：NICU退院児の発達フォローアップについて

講 師：渡辺 貴子 OT(いまきいれ子ども発達支援センターまある)、
竹田 孝幸 PT 参加者：16名

呼吸器系)

日 時：12月8日(日) 9:00~12:20

会 場：谷山生協クリニック

テーマ：胸部レントゲンとCTのみかた

講 師：山口 浩樹 医師(鹿児島生協病院 副院長) 参加者：23名

トピックス系)

日 時：令和7年2月23日(日) 9:00~12:10

会 場：鹿児島大学医学部臨床講義棟2階 第4講義室

テーマ：高齢期の理学療法に求められる評価視点と地域での実践

講 師：白土 大成 PT 参加者：20名

部会4回開催

(職能研修部)

POS連絡協議会と連携し研修会企画開催

介護予防推進リーダー研修 10月5日(土) Web 13:30~17:00 参加者：12名

地域ケア会議推進リーダー研修会 10月6日(日) Web 9:30~15:10 参加者：13名

推進リーダーステップアップ研修 1月25日(土) Web 14:00~16:10 参加者：13名

協会指定管理者(初級)研修の開催 3月7日(金) Web 19:00~20:30

講 師：白木 信義 PT 参加者：6名

部会5回

3. 理学療法士の教育機関に協力し、理学療法の資質向上に寄与する事業

(生涯学習部)

新卒者オリエンテーション

4月21日(日) ハイブリッド開催 会 場：鹿児島大学

9:30~09:45 会長挨拶

9:45~10:15 倫理

参加者 合計 97名

10:15~11:00 理学療法連盟政策

対面 66名

11:00~11:15 協会入会案内

オンライン 31名

<前期研修>

- 6月23日(日) 対面開催 会場：鹿児島医療福祉専門学校
 A-6：生涯学習において 参加者30名
 A-2：協会組織 参加者30名
 A-3：人間関係および接遇 参加者30名
 A-4：理学療法における関連法規 参加者30名
- 7月28日(日) オンライン開催 配信場所：鹿児島医療福祉専門学校
 A-4：理学療法における関連法規 参加者23名
 A-3：人間関係および接遇 参加者23名
 A-2：協会組織 参加者24名
 A-1：職業と倫理 参加者24名
- 8月25日(日) 対面開催 会場：鹿児島医療福祉専門学校
 A-5：理学療法における情報管理 参加者24名
 A-1：職業と倫理 参加者24名
- 9月29日(日) オンライン開催 配信場所：鹿児島医療福祉専門学校
 A-6：生涯学習において 参加者23名
 A-5：理学療法における情報管理 参加者26名

<後期研修>

- 7月28日(日) 対面開催(動画放映) 会場：鹿児島医療福祉専門学校
 A-1：理学療法診断学① 参加者12名
 A-2：理学療法診断学② 参加者13名
 A-3：画像診断学 参加者11名
- 8月25日(日) 対面開催 会場：鹿児島医療福祉専門学校
 C-4：士会オリジナル病期別理学療法学④ 参加者10名
 C-1：士会オリジナル神経系理学療法学④ 参加者10名
- 9月29日(日) 対面開催 会場：鹿児島医療福祉専門学校
 C-2：士会オリジナル運動器系理学療法学④ 参加者11名
 C-3：士会オリジナル内部障害理学療法学④ 参加者8名
- 10月13日(日) 対面開催(動画放映) 会場：鹿児島医療福祉専門学校
 C-1：神経系理学療法学① 脳血管障害の理学療法Ⅰ、Ⅱ 参加者9名
 C-1：神経系理学療法学② 神経変性疾患の理学療法Ⅰ、Ⅱ 参加者8名
- 11月24日(日) 対面開催(動画放映) 会場：鹿児島医療福祉専門学校
 C-2：運動器系理学療法学① 外傷性・変形性疾患の理学療法Ⅰ、Ⅱ 参加者7名
 C-2：運動器系理学療法学② スポーツ障害の理学療法Ⅰ、Ⅱ 参加者7名
- 12月22日(日) 対面開催(動画放映) 会場：鹿児島医療福祉専門学校
 C-3：内部障害理学療法学① 呼吸器疾患の理学療法Ⅰ、Ⅱ 参加者9名
 C-3：内部障害理学療法学② 循環器疾患の理学療法Ⅰ、Ⅱ 参加者9名

(臨床教育支援部)

鹿児島県理学療法士養成課程臨床実習指導者養成連絡協議会協議会と連携して、3回の鹿児島県臨床実習指導者講習会を開催、142名が修了(修了者数合計は1347名)。
 臨床実習施設認定制度を新指定規則に沿って改定された制度の認定作業(新制度下2施設登録)。
 臨床実習指導者スキルアップ研修会の開催

令和7年2月16日(日) 9:00~12:00 Web開催 参加者22名

テーマ：『新カリキュラムに沿った臨床実習の進め方』 講師：松田 史代 PT

事例紹介：『加治木温泉病院の臨床実習受け入れ体制の紹介』 講師：増山 泰英 PT

部会2回

4. 理学療法に関する会誌その他の刊行物の発行及び調査研究に関する事業

(広報部)

部会 1 回開催

機関誌の発行

第 1 回 (No. 102)	令和 6 年 8 月 5 日発行	(冊子・WEB版)
第 2 回 (No. 103)	令和 6 年 10 月 7 日発行	(冊子・WEB版)
第 3 回 (No. 104)	令和 6 年 12 月 2 日発行	(冊子・WEB版)
第 4 回 (No. 105)	令和 7 年 3 月 10 日発行	(冊子・WEB版)

5. 関連団体との連絡及び協力に関する事業

(ヘルスケア事業部)

① 理学療法の日 健康づくりキャンペーン

日 時：7 月 14 日 (日) 10:00～16:00

会 場：イオンモール鹿児島 参加者 100 名 PT13 名従事

② 会員向けアンケート調査の実施

期 間：令和 7 年 1 月 29 日～令和 7 年 2 月 23 日 回答数：77 件

部会 5 回

6. 理学療法士の社会的地位の向上及び相互福祉に関する事業

(広報部)

理学療法の日「健康づくりキャンペーン」への参加

日 時：7 月 14 日 (日) 10:00～16:00

会 場：イオンモール鹿児島

鹿児島県理学療法士協会のぼりを設置。体力測定を実施された方や付近を通行されるお客様へ広報物品と理学療法ハンドブック、うちわを封入したロゴ入りポリ袋やロゴ入り風船を配布
鹿児島県理学療法士協会公式LINEでの情報配信

LINE登録者 3/31 現在 1231 名 今年度配信回数：104 回

II. その他の事業

1. 会員の福利厚生に関する事業

(福利厚生部)

会員向け写真コンテストの企画・開催

- ・県士会ホームページ、協会ニュース、県士会LINEにて案内
- ・応募期間：令和 6 年 9 月 1 日～令和 7 年 2 月 24 日
- ・最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点を決定し表彰した。

III. 管理費

(総務部)

会員との連絡及び郵送物の発送、会員管理（会員入退会及び異動等の手続き及び管理）、日本理学療法士協会との連携、会議議事録の作成、整理及び保管業務、文書の収受、発行及び管理に関する業務、公印の管理に関する業務、刊行物の発送、整理、保管に関する業務、公益法人の手続き・必要書類の作成、ホームページ管理

関連団体との提携および共催・後援依頼の回答、規約の改正、各部との連携

代議員総会の実施 2023年度決算総会6/15 (土) (会場：鹿児島医療福祉専門学校・Web)、
臨時総会11/22 (金) (Web)、2025年度予算総会3/14 (金) (Web)

代議員研修会6/15 (土) 15:00～16:00 会 場：鹿児島医療福祉専門学校

テーマ：これはハラスメント？ ～訴えに対する初動のあり方～

講 師：弁護士法人 下村法律事務所 下村 哲也 先生 参加者：27 名

2024年度入会者131名 退会者115名 (任意退会61名、未納退会者20名、休会経過退会34名)

在会会員数 2414名 (休会会員633名は含めず) (2025/3/31現在)

(経理部)

年会費納入案内、年会費納入状況の確認作業、研修会参加費徴収業務、予算案及び決算書の作成、各部委員会の予算執行・支払等、出納帳管理、会計監査、委託会計事務所と連絡

2024年度年会費 2633名納入(既会員2504名 新入会員131名) 未納退会者20名

(理事会)

- 第1回 4/10 ①新組織体制について ②「名誉会員規程」の修正について ③「謝金の支払い基準に関する規程」修正 ④定款変更について ⑤令和6年度学術部研修会参加費支払方法について ⑥令和6年度研究助成の申請状況 ⑦入会費、会費割引について ⑧総会の日時について ⑨業務執行状況報告
- 第2回 5/16 ①定款変更承認後の理事推薦について ②「会費減免」制度の理事会採択について ③代議員研修会について ④「職務権限規程」の修正について ⑤「表彰規程」の見直しについて ⑥令和5年度事業報告について ⑦令和5年度決算報告について ⑧総会開催について ⑨令和6年度研究助成の審査結果について ⑩業務執行状況報告
- 第3回 6/12 ①看護の日イベントについて ②第2回始良地区研修会 参加者選定方法について ③令和6年度第一次補正予算の承認について ④表彰推薦者の理事会承認について ⑤業務執行状況報告
- 第4回 7/10 ①理学療法の日健康づくりキャンペーン参加粗品の配布について ②第38回鹿児島県理学療法士学会 準備状況 ③理事会運営規程及び内規の承認について ④業務執行状況報告
- 第5回 9/11 ①「理事会運営規程内規」修正について ②ヘルスケア事業部下半期事業について ③会費減免制度に係るパブリックコメントの提案についての審議 ④2024年度 高野連肩肘検診事前研修について ⑤業務執行状況報告
- 第6回 10/9 ①選挙システム変更について ②臨時代議員総会について ③業務執行状況報告
- 第7回 11/13 ①県警コンディショニング術事業報酬・交通費支給について ②政策協定案について ③謝金規程の改定について ④業務執行状況報告
- 第8回 12/11 ①「会計処理規程」「会費徴収規程」について ②業務執行状況報告
- 第9回 1/22 ①令和7年度学術研修部研修会 受講料の変更について ②「謝金の支払い基準に関する規程」について ③第39回鹿児島県理学療法士学会 学会長推薦について ④令和7年度事業計画案・予算案について ⑤令和6年度第3回代議員総会について ⑥田中まさし氏への推薦状の発行の依頼について ⑦業務執行状況報告
- 第10回 2/12 ①令和7年度研究助成の延長について ②業務執行状況報告
- 第11回 3/12 ①第2次補正予算案承認 ②規程の文言修正について ③業務執行状況報告

関係団体との各種会議への出席

日本理学療法士協会との各種会議への参加

九州ブロック各種会議への参加

(選挙管理委員会)

- ・地区変更に伴い選挙システム変更、テスト選挙の実施
- ・鹿児島県理学療法士協会 役員候補者選挙の実施
令和7年1月告示、3月役員候補者選挙 立候補者確定
部会2回

(規約審議委員会)

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会規定集見直し

年3回会議開催

規定集の見直し、修正を規約審議委員会で行い、理事会に提出

(組織運営等検討委員会)

理事会からの依頼の会費割引についての調査検討を行い、答申として理事会へ提出

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	27,176,689	29,031,532	△ 1,854,843
未収会費	28,000	52,000	△ 24,000
未収金	42,500	1,645,250	△ 1,602,750
仮払金	223,660	189,410	34,250
流動資産合計	27,470,849	30,918,192	△ 3,447,343
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,869,549	4,218,989	△ 349,440
事務局開設積立資産	14,713,751	14,713,751	0
特定資産合計	18,583,300	18,932,740	△ 349,440
(3) その他固定資産			
什器備品	3,763,475	3,672,575	90,900
減価償却累計額	△ 3,397,225	△ 3,311,984	△ 85,241
電話加入権	72,618	72,618	0
ソフトウェア	255,200	382,800	△ 127,600
その他固定資産合計	694,068	816,009	△ 121,941
固定資産合計	19,277,368	19,748,749	△ 471,381
資産合計	46,748,217	50,666,941	△ 3,918,724
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	330,790	△ 330,790
前受金	15,396,000	16,155,000	△ 759,000
預り金	213,838	633,933	△ 420,095
仮受金	19,000	0	19,000
流動負債合計	15,628,838	17,119,723	△ 1,490,885
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,749,947	2,099,387	△ 349,440
固定負債合計	1,749,947	2,099,387	△ 349,440
負債合計	17,378,785	19,219,110	△ 1,840,325
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	1,458,693	1,458,693	0
指定正味財産合計	1,458,693	1,458,693	0
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(1,458,547)	(1,458,547)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)	(15,374,806)	(15,374,806)	(0)
正味財産合計	29,369,432	31,447,831	△ 2,078,399
負債及び正味財産合計	46,748,217	50,666,941	△ 3,918,724

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	7,831	229	7,602
特定資産運用益計	7,831	229	7,602
受取入金			
新人会員入金	655,000	750,000	△ 95,000
受取入金計	655,000	750,000	△ 95,000
受取会費			
正会員受取会費	22,536,000	22,716,000	△ 180,000
賛助会員受取会費	110,000	110,000	0
新人会員会費	1,179,000	1,350,000	△ 171,000
受取会費計	23,825,000	24,176,000	△ 351,000
事業収益			
受託事業収益	2,612,643	2,660,504	△ 47,861
研修会参加料収益	896,500	801,610	94,890
事業収益計	3,509,143	3,462,114	47,029
受取補助金等			
受取民間助成金	2,345,800	2,356,100	△ 10,300
受取補助金等計	2,345,800	2,356,100	△ 10,300
雑収益			
受取利息	13,533	354	13,179
雑収益	32,280	22,401	9,879
雑収益計	45,813	22,755	23,058
経常収益計	30,388,587	30,767,198	△ 378,611
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	5,682,871	8,174,370	△ 2,491,499
退職給付費用	163,200	163,200	0
福利厚生費	1,197,550	1,183,573	13,977
旅費交通費	794,223	1,178,535	△ 384,312
通信運搬費	1,108,439	1,098,965	9,474
減価償却費	314,950	286,660	28,290
消耗什器備品費		99,880	△ 99,880
消耗品費	463,467	369,830	93,637
修繕費	88,000	55,000	33,000
印刷製本費	2,711,127	2,731,206	△ 20,079
会議費	19,797	759,745	△ 739,948
光熱水料費	109,039	76,626	32,413
賃借料	693,456	534,176	159,280
諸謝金	3,092,224	1,901,955	1,190,269
支払負担金	1,283,200	1,267,200	16,000
支払助成金	359,290	290,990	68,300
委託費	500,000		500,000
会場費	913,481	748,400	165,081
会場設営費	1,355,420	2,625,260	△ 1,269,840
研修費	35,000	30,000	5,000
図書費	22,760	22,070	690
報酬費	1,583,104	3,053,808	△ 1,470,704
支払手数料	23,338		23,338
諸会費	183,000		183,000
事業費計	22,696,936	26,651,449	△ 3,954,513
管理費			
役員報酬	1,270,000	1,170,000	100,000
給料手当	3,964,704	6,674,757	△ 2,710,053
退職給付費用	124,800	124,800	0
福利厚生費	872,010	1,010,737	△ 138,727
会議費	26,187	2,643	23,544
旅費交通費	105,700	428,859	△ 323,159
通信運搬費	481,410	379,527	101,883
交際費	46,800	190,000	△ 143,200
減価償却費	134,979	122,854	12,125
消耗什器備品費		116,874	△ 116,874

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
消耗品費	162,778	226,601	△ 63,823
修繕費	336,718	302,022	34,696
印刷製本費	56,658	54,698	1,960
光熱水料費	143,960	99,287	44,673
賃借料	364,224	364,224	0
保険料	51,650	36,100	15,550
諸謝金	40,000		40,000
租税公課	25,497	25,813	△ 316
支払負担金		500,000	△ 500,000
支払手数料	247,319	282,110	△ 34,791
報酬費	190,736	222,970	△ 32,234
諸会費	30,000	0	30,000
会場費	6,000		6,000
委託料	1,014,640	1,022,448	△ 7,808
消耗備品費	73,278	9,878	63,400
管理費計	9,770,048	13,367,202	△ 3,597,154
経常費用計	32,466,984	40,018,651	△ 7,551,667
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,078,397	△ 9,251,453	7,173,056
当期経常増減額	△ 2,078,397	△ 9,251,453	7,173,056
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
什器備品除却損	2		2
固定資産除却損計	2		2
経常外費用計	2		2
当期経常外増減額	△ 2		△ 2
当期一般正味財産増減額	△ 2,078,399	△ 9,251,453	7,173,054
一般正味財産期首残高	29,989,138	39,240,591	△ 9,251,453
一般正味財産期末残高	27,910,739	29,989,138	△ 2,078,399
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	1,458,693	1,458,693	0
指定正味財産期末残高	1,458,693	1,458,693	0
III 正味財産期末残高	29,369,432	31,447,831	△ 2,078,399

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	理学療法士の職業倫理の高揚を図る事業	会員の福利厚生に関する事業	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益				
特定資産受取利息			7,831	7,831
特定資産運用益計			7,831	7,831
受取入会金				
新入会員入会金	327,500		327,500	655,000
受取入会金計	327,500		327,500	655,000
受取会費				
正会員受取会費	11,268,000		11,268,000	22,536,000
賛助会員受取会費	110,000			110,000
新入会員会費	598,500		580,500	1,179,000
受取会費計	11,976,500		11,848,500	23,825,000
事業収益				
受託事業収益	2,612,643			2,612,643
研修会参加料収益	896,500			896,500
事業収益計	3,509,143			3,509,143
受取補助金等				
受取民間助成金	2,345,800			2,345,800
受取補助金等計	2,345,800			2,345,800
雑収益				
受取利息	13,533			13,533
雑収益	32,280			32,280
雑収益計	45,813			45,813
経常収益計	18,204,756		12,183,831	30,388,587

(単位:円)

科目	理学療法士の職業倫理の高揚を図る事業	会員の福利厚生に関する事業	法人会計	合計
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	5,682,871			5,682,871
退職給付費用	163,200			163,200
福利厚生費	1,143,520	54,030		1,197,550
旅費交通費	794,223			794,223
通信運搬費	1,108,439			1,108,439
減価償却費	314,950			314,950
消耗品費	463,467			463,467
修繕費	88,000			88,000
印刷製本費	2,711,127			2,711,127
会議費	19,797			19,797
光熱水料費	109,039			109,039
賃借料	693,456			693,456
諸謝金	3,092,224			3,092,224
支払負担金	1,283,200			1,283,200
支払助成金	359,290			359,290
委託費	500,000			500,000
会場費	913,481			913,481
会場設営費	1,355,420			1,355,420
研修費	35,000			35,000
図書費	22,760			22,760
報酬費	1,583,104			1,583,104
支払手数料	21,338	2,000		23,338
諸会費	183,000			183,000
事業費計	22,640,906	56,030		22,696,936
管理費				
役員報酬			1,270,000	1,270,000
給料手当			3,964,704	3,964,704
退職給付費用			124,800	124,800
福利厚生費			872,010	872,010
会議費			26,187	26,187
旅費交通費			105,700	105,700
通信運搬費			481,410	481,410
交際費			46,800	46,800
減価償却費			134,979	134,979
消耗品費			162,778	162,778
修繕費			336,718	336,718
印刷製本費			56,658	56,658
光熱水料費			143,960	143,960
賃借料			364,224	364,224
保険料			51,650	51,650
諸謝金			40,000	40,000
租税公課			25,497	25,497
支払手数料			247,319	247,319
報酬費			190,736	190,736
諸会費			30,000	30,000
会場費			6,000	6,000
委託料			1,014,640	1,014,640
消耗備品費			73,278	73,278
管理費計			9,770,048	9,770,048
経常費用計	22,640,906	56,030	9,770,048	32,466,984
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,436,150	△ 56,030	2,413,783	△ 2,078,397
当期経常増減額	△ 4,436,150	△ 56,030	2,413,783	△ 2,078,397
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
固定資産売却損				
什器備品除却損	1		1	2
固定資産除売却損計	1		1	2
経常外費用計	1		1	2
当期経常外増減額	△ 1		△ 1	△ 2
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 4,436,151	△ 56,030	2,413,782	△ 2,078,399
当期一般正味財産増減額	△ 4,436,151	△ 56,030	2,413,782	△ 2,078,399
一般正味財産期首残高	△ 5,914,533	1,112,176	34,791,495	29,989,138
一般正味財産期末残高	△ 10,350,684	1,056,146	37,205,277	27,910,739
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高			1,458,693	1,458,693
指定正味財産期末残高			1,458,693	1,458,693
III 正味財産期末残高	△ 10,350,684	1,056,146	38,663,970	29,369,432

財務諸表に対する注記

1 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品については、定率法による減価償却を実施している。
ソフトウェアについては、定額法による減価償却を実施している。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末において発生していると認められる額を計上している。

(5) 資金収支計算書における資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収会費、未収金、未払金、前受金及び預り金を含む。

(6) 消費税等の会計処理

該当なし。

3 会計方針の変更

平成22年度より「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を適用している。
なお、当該変更が財務諸表に与える影響はない。

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	4,218,989		349,440	3,869,549
事務局開設積立資産	14,713,751			14,713,751
合計	18,932,740	0	349,440	18,583,300

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	3,869,549	—	(2,119,602)	(1,749,947)
事務局開設積立資産	14,713,751	(1,458,693)	(13,255,058)	—
合計	18,583,300	(1,458,693)	(15,374,660)	(1,749,947)

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,763,475	3,397,225	366,250
合計	3,763,475	3,397,225	366,250

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細書

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産					
退職給付引当資産	鹿児島銀行 川辺支店	4,218,989		349,440	3,869,549
事務局開設積立資産	鹿児島銀行 川辺支店	14,713,751			14,713,751
計		18,932,740	0	349,440	18,583,300

2 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当資産	2,099,387	0	349,440		1,749,947

財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	鹿児島銀行 川辺支店No.836244	運転資金として	25,579,912
	鹿児島銀行 川辺支店No.436337	運転資金として	997,172
	鹿児島銀行 鴨池支店No.3464003	運転資金として	591,304
	鹿児島銀行 鴨池支店No.3464014	運転資金として	10
	鹿児島銀行 鴨池支店No.3464025	運転資金として	10
	鹿児島銀行 川辺支店No.904583	事務局開設積立資産受取利息	8,043
定期預金	鹿児島銀行 川辺支店No.4021942	退職給付引当資産受取利息	238
未収会費		当期分の会費である	28,000
未収金		当期分の事業受託収入である	42,500
仮払金	九州ブロック士会長	旅費の未精算分である	223,660
流動資産合計			27,470,849
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	鹿児島銀行 川辺支店No.4021942	職員等の退職に備えたもの	3,869,549
事務局開設積立資産	鹿児島銀行 川辺支店No.904583	固定資産取得に備えたもの	14,713,751
特定資産合計			18,583,300
(3) その他の固定資産			
什器備品	パソコン等	公益目的保有財産であり、各事業及び管理業務で使用している	3,763,475
			△ 3,397,225
電話加入権		公益目的保有財産であり、各事業及び管理業務で使用している	72,618
ソフトウェア		公益目的保有財産であり、各事業及び管理業務で使用している	255,200
その他の固定資産合計			694,068
固定資産合計			19,277,368
資産合計			46,748,217
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	会員	来期分の会費である	15,396,000
預り金	職員に係るもの	職員の社会保険料である	211,527
	講師等	謝金等の源泉所得税である	2,311
借受金	会員	会費の誤入金分である。	19,000
流動負債合計			15,628,838
2. 固定負債			
退職給付引当金			1,749,947
固定負債合計			1,749,947
負債合計			17,378,785
正味財産			29,369,432

監査報告書

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事および関係者等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会等の重要な会議に出席し、理事および関係者等から、その職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。さらに会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、令和6年度に係る計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等)及びそれに付随する明細書等について確認・精査いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①理事会で報告された事業報告書は、法令および定款に従い、協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 決算関係書類及びその附属明細書等の監査報告

決算関係書類及びその附属明細書等は、協会の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3. 監事の意見

- (1) 収支計算書における次期繰越収支差額を考慮し今後の組織運営を計画、遂行してください。
- (2) 事務局職員について業務の滞りが無いよう早急に職員採用等の検討をお願い致します。
- (3) 理事会の議論活性化を促せるよう議事進行等を含め規程の改正や役員研修等の検討をお願いします。

令和7年5月9日

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会

監事 村山 芳博



監事 赤崎 昭朗



令和7年度 事業計画

事業名

I. 公益事業

1. 医療・保健及び福祉の発展に寄与する事業

講演講師派遣

機能訓練事業委託十島村 鹿児島市社会福祉協議会 鹿屋市

【保険政策企画部】

保険政策企画、提言及び医療保険・介護保険・障害福祉サービスの問い合わせ対応

- ・ 保険政策企画部会
- ・ 政策提言に関わる有識者からの提言等研修会
- ・ 職能（政治・政策）活動の情報発信
- ・ 九州ブロック政策検討委員会への参加
- ・ 介護保険・報酬制度に関する情報収集

研修会及び「介護保険等に係る市町村等説明会」への参

- ・ 会員からの介護保険・報酬制度に関する問い合わせ、相談対応

医療保険班、介護保険班、障害福祉サービス班に分かれての問い合わせ対応

【スポーツ事業部】

- ・ 高校野球肩肘検診のサポート事業（事前研修会・当日の活動支援）
- ・ 県警コンディショニング術研修会（事前研修会・当日の活動支援）
- ・ 中学のスポーツ支援活動（事前研修会・当日の活動支援）

その他、依頼に対応する形で追加事業も対応予定

【高齢者事業部】

一般県民・介護職への介護技術の伝達と理学療法の啓発活動

- ・ 公開講座（年1回）

介護（予防）技術伝達教室の開催（年1回） *開催困難な場合はZOOM講習会

- ・ 起居移乗・褥瘡ケアなどの講義・実技指導

【小児・学校保健事業部】

子どもの発達全般やスポーツ障害、こどもロコモなど、様々な課題に対して、理学療法士として子どもたちや保護者、支援者を支えていけるような活動を検討

- ・ 小児・学校保健事業部会議
- ・ 発達サポート研修会（年2回）
- ・ ティーボール大会（鹿児島県ティーボール連盟主催）のサポート
- ・ 小学生向け肩肘スポーツサロン（仮称）
- ・ 認定スクールトレーナー制度人材育成
- ・ 他部との協同による事業

【ヘルスケア事業部】

会員の産業保健やウィメンズヘルス等の認知度や興味関心を聴取し、今後の事業に発展させ、公開講座やシンポジウムなど、会員や一般向けの事業において理学療法士の認知度向上、職域拡大を図っていく

- ・ 理学療法の日イベント

- ・公開講座、シンポジウム
産業保健、ウイメンズヘルスの内容にて予定
- ・ヘルスケア事業部活動の情報発信（広報・編集部との連携）
- ・アンケート調査
- ・事業実施に向けた準備、職能局全体との連携のための会議

2. 職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業

地域リハビリテーション活動

地区会員の学術・技術の向上、地区会員の情報共有や連携・組織化（ネットワークの構築）

- 【始良地区】 研修会 3回 症例検討会 3回 連携会議
- 【北薩地区】 研修会 2回 症例検討会 1回 連携会議
- 【鹿児島地区】 研修会 3回 症例検討会 エントリー件数に応じて予定 連携会議
かごしま市民健康まつりへの参画
- 【大隅地区】 研修会 3回 症例検討会 1～2回 連携会議
- 【南薩地区】 研修会 2回 症例検討会 2回 連携会議
- 【西薩地区】 研修会 2回 症例検討会 2回 連携会議
- 【奄美地区】 研修会 2回 症例検討会 1回 連携会議
- 【種子屋久地区】 研修会 2回 症例検討会 2回 連携会議
- 【第39回鹿児島県理学療法士学会の開催】

【学術研修部】

協会員の教育や学術の向上をめざし、研修会の成果を県士会員が日常の業務に還元し、リハビリテーション医学の充実に生かしていくことを目的に行う。

年5回研修会を開催

令和7年度学術部研修会の動画をZoomにて録画し、研修会終了後に期間限定で動画配信プラットフォームVimeoにて配信を行う。

【学術誌部】

学術誌「理学療法かごしま」の編集（第4巻論文受付開始）、J-STAGEにて公開手続き
優秀論文の選定

【学術支援部】

助成金の上限は10万円とし、採択件数は5件を予定

【専門領域研究部】（旧専門領域研究部）

専門性の高い治療技術・知識を持つ理学療法士を育成するための自己研鑽を行う場として研修会開催を行う。

小児系2回、生活環境系2回、呼吸器系2回、循環器系2回、神経系2回、運動器系2回、トピックス系1回の合計13回の研修会の企画運営を予定

【職能研修部】

協会指定管理者研修事業・職能に関わる研修事業の企画運営、POS連絡協議会リーダー研修事業

3. 教育機関に協力し理学療法士の資質の向上に寄与する事業

【生涯学習部】

新卒者オリエンテーション

<前期研修>

A 初期研修 各1コマ

A-1 職業人と倫理 A-2 協会組織 A-3 人間関係及び接遇

A-4 理学療法における関係法規 A-5 理学療法における情報管理

A-6 生涯学習において ※対面講習

B 理学療法の基礎 各1コマ

B-1 一次救命処置と基本処置 B-2 クリニカルリーズニング

B-3 理学療法の研究方法論 B-4 統計方法論 B-5 症例報告・発表の仕方

B-リスクマネジメント eラーニングで受講依頼

C 理学療法の専門 計10コマ eラーニングで受講依頼

D 実地研修 計32コマ

<後期研修>

A 臨床推論 計4コマ

A-1 理学療法診断学① A-2 理学療法診断学② A-3画像診断学(画像関連)

※会場放映

B 臨床疫学(演習) 計4コマ

B-1 臨床疫学 B-2 文献検索演習 eラーニングで受講依頼

C 領域別研修(座学) 計19コマ

C-1 I・II、C-2 I・II、C-3 I・IIを放映予定 ※会場放映

オリジナル分野C-1からC-4まで依頼予定 ※対面講習(座学・実技)

D 関連領域 計5コマ

D-1 栄養学 D-2 創傷治療学 D-3 薬理学 D-4 福祉住環境論総論

eラーニングで受講依頼

E 領域別研修(事例) 計6コマ

E-1 神経系理学療法学 E-2 運動器系理学療法学 E-3 内部障害系理学療法学

各地区に依頼 対面のみ(症例検討)

E 領域別研修(育成) 計5コマ

E-4 臨床実習指導 E-5 臨床教育方法論 E-6 ティーチングとコーチング

eラーニングで受講依頼

F 最近の知見 計8コマ

F-1 神経系領域の最近の知見 F-2 運動器系領域の最近の知見

F-3 内部障害系領域の最近の知見 F-4 基礎・公衆衛生領域の最近の知見

F-5 その他の関連領域に関する最近の知見 F-6 トピックス

F-7 協会の方針 F-8 世界の動向 eラーニングで受講依頼

【臨床教育支援部】

- ・ (厚生労働省) 臨床実習指導者講習会事業
鹿児島県理学療法士養成課程臨床実習指導者養成連絡協議会に参画し、鹿児島県臨床実習指導者講習会の企画運営を支援推進する
- ・ 臨床実習指導者研修会事業
厚生労働省臨床実習指導者講習会のブラッシュアップ研修としての研修会を企画
- ・ 臨床実習施設認証制度事業
新指定規則に準じて制度を見直した臨床実習施設認証制度を推進
- ・ その他、県内養成校の臨床実習を支援推進

4. 理学療法に関する会誌その他の刊行物の発行及び調査研究に関する事業

【広報部】

- 機関紙 (ニュース等) の企画・編集・発行に関する事項
- その他刊行物の編集、発行に関する事項
- No. 106~109 7月・9月・12月・3月の年4回の機関誌の発行 (冊子・WEB版)

5. 関連団体との連絡及び協力に関する事業

- 医療関連団体等との交流・連携及び関係団体の会議出席
- 理学療法士の職域拡大に関する事項、リハビリテーション関連職種・医療・福祉関係団体並びにその他団体との連携に関する事項

6. 理学療法士の社会的地位の向上及び相互福祉に関する事業

【広報部】

- 理学療法週間 (全国一斉イベント) での広報活動
- LINEでの情報配信 (会員向け) ・登録者数拡大
- SNS (facebook・Instagram等) を活用した情報配信 (会員外向け)

II. その他の事業

1. 会員の福利厚生に関する事業

【福利厚生部】

- 会員のライフサポートに関する事業の企画及び開催。
- 会員対象の写真コンテストの開催。

III. 管理費

【総務部】

- 会員管理(会員入退会及び異動等の手続き及び管理)、日本理学療法士協会との連携
- 会議議事録の作成・整理及び保管業務、文書の収受・発行及び管理に関する業務
- 公印の管理に関する業務、刊行物の発送・整理・保管に関する業務、規程集の作成
- 公益法人の手続き・必要書類の作成、ホームページ管理、他部との連携、
- 代議員研修会・総会の実施

【経理部】

年会費納入案内、年会費納入状況の確認作業、研修会参加費管理
予算案及び決算書の作成、各部委員会の予算執行・支払等、出納帳管理
会計監査、会計事務所との連絡、公益法人会計の研修会参加

【理事会】

各部との連絡調整 理事会の開催 法人の業務執行の決定
法人の業務執行に関する内部監査 理事の職務の執行の監督 会長及び副会長の選定及び
解職 総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定
関係団体との各種会議への出席 日本理学療法士協会との各種会議への参加
九州ブロック会長会議出席

【選挙管理委員会】

選挙規定に基づき、理事及び監事（以下「役員」という）、代議員の公正な選挙を行う。
役員選挙の実施と日本理学療法士協会選挙管理委員会との連携

1. 選挙すべき代議員・役員を告示し、立候補の受け付けを行う。

投票日の30日以前に告示を行う

2. 役員候補者・代議員候補者の受理及び資格審査
3. 候補者氏名の告示
4. 投票及び開票の管理と当選の確認
5. その他、選挙管理に必要な事項

令和7年度 役員選挙を実施

【規約審議委員会】

必要に応じて、規約審議委員会を開催し、規約等を見直して理事会に提出する

【組織運営等検討委員会】

理事会等の答申を受け、組織運営の関する意見を集約し、理事会へ報告する。

正味財産増減予算書 (当初予算)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金				
新人会員入会金	750,000	750,000	0	
受取入会金計	750,000	750,000	0	
受取会費				
正会員受取会費	23,310,000	23,850,000	△ 540,000	
賛助会員受取会費	130,000	140,000	△ 10,000	
新人会員会費	750,000	1,350,000	△ 600,000	
受取会費計	24,190,000	25,340,000	△ 1,150,000	
事業収益				
受託事業収益	2,138,000	2,400,000	△ 262,000	
研修会参加料収益	600,000	800,000	△ 200,000	
事業収益計	2,738,000	3,200,000	△ 462,000	
受取補助金等				
受取民間助成金	2,100,000	2,365,000	△ 265,000	
受取補助金等計	2,100,000	2,365,000	△ 265,000	
雑収益				
受取利息	5,000		5,000	
雑収益	100,000	100,600	△ 600	
雑収益計	105,000	100,600	4,400	
経常収益計	29,883,000	31,755,600	△ 1,872,600	
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	7,098,760	8,155,680	△ 1,056,920	
福利厚生費	1,664,320	2,047,644	△ 383,324	
旅費交通費	1,727,000	2,850,000	△ 1,123,000	
通信運搬費	1,756,000	1,940,000	△ 184,000	
減価償却費	210,000	210,000	0	
消耗什器備品費	20,000	15,000	5,000	
消耗品費	416,000	395,000	21,000	
修繕費	255,000	200,000	55,000	
印刷製本費	3,243,000	3,465,000	△ 222,000	
光熱水料費	80,000	80,000	0	
賃借料	753,000	856,000	△ 103,000	
諸謝金	3,565,000	4,303,554	△ 738,554	
支払負担金	1,320,000	1,420,000	△ 100,000	
支払助成金	500,000	500,000	0	
委託費	500,000	500,000	0	
会場費	925,000	1,460,000	△ 535,000	
会場設営費	2,150,000	3,430,000	△ 1,280,000	
研修費	180,000	100,000	80,000	
図書費	23,000	23,000	0	
報酬費	2,941,000	4,030,000	△ 1,089,000	
事業費計	29,327,080	35,980,878	△ 6,653,798	
管理費				
役員報酬	1,370,000	1,320,000	50,000	
給料手当	4,883,575	6,545,220	△ 1,661,645	
福利厚生費	1,225,345	1,464,952	△ 239,607	
旅費交通費	962,000	1,010,000	△ 48,000	
通信運搬費	630,000	830,000	△ 200,000	
交際費	100,000	100,000	0	
減価償却費	90,000	90,000	0	
消耗什器備品費	300,000	300,000	0	
消耗品費	325,000	225,000	100,000	
修繕費	253,000	300,000	△ 47,000	
印刷製本費	80,000	1,080,000	△ 1,000,000	
光熱水料費	100,000	100,000	0	
賃借料	414,000	394,000	20,000	
保険料	55,000	40,000	15,000	
諸謝金	45,000		45,000	
租税公課	32,000	32,000	0	
支払手数料	866,000	370,000	496,000	
報酬費	396,000	450,000	△ 54,000	
会場費	70,000	70,000	0	

科目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	備考
研修参加費	20,000	20,000	0	
委託料	1,239,000	1,240,000	△ 1,000	
交際費	50,000	50,000	0	
雑費	350,000	43,550	306,450	
管理費計	13,855,920	16,074,722	△ 2,218,802	
経常費用計	43,183,000	52,055,600	△ 8,872,600	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,300,000	△ 20,300,000	7,000,000	
当期経常増減額	△ 13,300,000	△ 20,300,000	7,000,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額	△ 13,300,000	△ 20,300,000	7,000,000	
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高	△ 13,300,000	△ 20,300,000	7,000,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高	△ 13,300,000	△ 20,300,000	7,000,000	

正味財産増減予算書内訳表(当初予算)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業						小計	取益事業等 会員の福利厚生 に関する事業	法人会計 管理費	内部取引等 消去	合計
	医療・保健・福 祉の増進に寄与 する事業	職業倫理高揚・ 学術・技術向上 に関する事業	理学療法士の質 向上に寄与す る事業	公認その他刊行 物の発行及び調 査研究事業	その他本会の目 的の達成に必要 な事業						
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
受取入金											
新入会費	375,000						375,000	50,000	325,000		750,000
新入会費計	375,000						375,000	50,000	325,000		750,000
受取入金計											
新入会費											
正会員受取会費	11,655,000						11,655,000	100,000	11,555,000		23,310,000
賛助会員受取会費	65,000						65,000		65,000		130,000
新入会費	375,000						375,000		375,000		750,000
新入会費計	12,095,000						12,095,000	100,000	11,995,000		24,190,000
事業収益											
受託事業収益	2,138,000						2,138,000				2,138,000
研修会参加料収益	600,000						600,000				600,000
事業収益計	2,738,000						2,738,000				2,738,000
事業収益計											
受取補助金等	2,100,000						2,100,000				2,100,000
受取民間助成金	2,100,000						2,100,000				2,100,000
受取補助金等計	2,100,000						2,100,000				2,100,000
雑収益											
受取利息	5,000						5,000				5,000
雑収益	100,000						100,000				100,000
雑収益計	105,000						105,000				105,000
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計											
受取利息											
雑収益											
雑収益計				</							

科目	公益目的事業					小計	収益事業等 会員の福利厚生 に関する事業	法人会計 管理費	内閣取引等 消去	合計
	医療・保健・福 祉の増進に寄与 する事業	職業倫理高揚・ 学術・技術向上 に関する事業	理学療法士の質 向上に寄与す る事業	会誌その他刊行 物の発行及び調 査研究事業	その他の本会の目 的の達成に必要 な事業					
減価償却費								90,000		90,000
消耗什器備品費								300,000		300,000
消耗品費								325,000		325,000
修繕費								253,000		253,000
印刷製本費								80,000		80,000
光熱水料費								100,000		100,000
賃借料								414,000		414,000
保険料								55,000		55,000
諸謝金								45,000		45,000
租税公課								32,000		32,000
支払手数料								866,000		866,000
報酬費								396,000		396,000
会場費								70,000		70,000
研修参加費								20,000		20,000
委託料								1,239,000		1,239,000
交際費								50,000		50,000
雑費								350,000		350,000
管理費計								13,855,920		13,855,920
経常費用計	13,972,080	10,187,000	787,000	3,625,000	586,000	29,157,080	170,000	13,855,920		43,183,000
評価損益等調整前当期経常増減額	3,440,920	△ 10,187,000	△ 787,000	△ 3,625,000	△ 586,000	△ 11,744,080	△ 20,000	△ 1,535,920		△ 13,300,000
当期経常増減額	3,440,920	△ 10,187,000	△ 787,000	△ 3,625,000	△ 586,000	△ 11,744,080	△ 20,000	△ 1,535,920		△ 13,300,000
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計										
(2) 経常外費用										
経常外費用計										
当期経常外増減額										
他会計振替前当期一般正味財産増減額	3,440,920	△ 10,187,000	△ 787,000	△ 3,625,000	△ 586,000	△ 11,744,080	△ 20,000	△ 1,535,920		△ 13,300,000
当期一般正味財産増減額	3,440,920	△ 10,187,000	△ 787,000	△ 3,625,000	△ 586,000	△ 11,744,080	△ 20,000	△ 1,535,920		△ 13,300,000
一般正味財産期首残高										
一般正味財産期末残高	3,440,920	△ 10,187,000	△ 787,000	△ 3,625,000	△ 586,000	△ 11,744,080	△ 20,000	△ 1,535,920		△ 13,300,000
指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額										
指定正味財産期首残高										
指定正味財産期末残高										
III 正味財産期末残高	3,440,920	△ 10,187,000	△ 787,000	△ 3,625,000	△ 586,000	△ 11,744,080	△ 20,000	△ 1,535,920		△ 13,300,000

会長あいさつ



公益社団法人鹿児島県理学療法士協会

会長 平 名 章 二

このたび3期目の会長職を拝命しましたどうぞよろしくお願い致します。

さて今期は4名の理事と1名の監事の勇退及び新理事・監事の就任がありました。まずはこれまで精力的に活動いただき士会の発展にご尽力頂きました退任理事・監事の皆様方に感謝申し上げます。永くにわたりありがとうございました。そして新たに理事となられた4名の先生方と外部理事・監事の活躍に会員の皆さんはご期待いただければと思います。どうぞ新体制のスタートに際し期待と叱咤激励をいただければと思います。

さて、当会は国民・県民の健康・福祉に寄与するための自己研鑽、職業倫理の高揚と理学療法の学術及び技能の向上という至上命題を掲げて活動しています。何よりも学術研鑽により築き上げた会員一人一人の足跡が「寄与する」ために最重要視されるものと常々考えております。今期は「登録理学療法士の更新」という生涯学習システムの一区切りにあたるため、この研鑽システムのさらなる充実のための研鑽の場の提供を準備してまいりたいと考えます。各会員においては今のうちから準備に余念無きようお願いいたします。そしてこの会員努力・研鑽の成果を職能の分野でより広く発揮できるよう、その機会の拡大を図りたいと思います。スポーツ分野はもとより小児・学校保健、産業保健の分野といった全世代型の事業において我々理学療法士の力を存分に発揮できるよう準備して参ります。

また各地区においては、協会専門各部の活動を各地区で展開するなど地区連携と機能深化を図り、会員参加の地区活動・種々の事業をさらに充実したものにし、従前に加えて公益活動の拡大に努めて参りたいと考えます。各施設における新人理学療法士への入会促進と研鑽の場への誘い・アナウンスをお願いし、各地区における会員諸氏の士会事業へ関与機会の拡大や積極的な事業参加と活躍を是非お願いいたします。

(重点課題)

- (1) 新組織の運営の深化
- (2) 学術研究、臨床力向上の機会推進
- (3) 地区活動の充実と地区連携の推進
- (4) 学校保健・体育活動へのモデル活動実施
- (5) 産業理学療法・スポーツ支援活動の推進と事業拡大
- (6) 行政各所との協働による地域活動と職能活動の推進と拡大

県民の医療及び保健の充実並びに福祉の向上に寄与する団体として活動を展開するため新人も中堅もベテランも、すべての世代の会員諸氏の協力が必要です。苦難の時こそ皆で団結していきましょう。今期もよろしく申し上げます。

新役員あいさつ

副会長・業務執行理事



米盛病院
生駒成亨

前期は新しい組織体制となつての2年間でしたが、担当理事、部長のリーダーシップのもと会員の皆様のご尽力により多様な公益活動を実施することができました。

今期においても適切な組織運営に努め、特に解決すべき課題について改善活動を行い、会員の皆様が多方面で活躍できるようサポートしていきたいと考えますので、会員の皆様のご参加・ご協力をよろしくお願ひします。

副会長・業務執行理事



鹿児島医療福祉専門学校
白尾麻美

前期に引き続き副会長、学術局長、職能局長を拝命しました鹿児島医療福祉専門学校の白尾です。学術局では研修会等を通じて学術活動支援に努めて参ります。職能局では小児・学校保健事業とスポーツ事業を通じて理学療法士の活動拡大を目指し、社会貢献に努めて参ります。よろしくお願ひいたします。

業務執行理事



東條夏也

今回の選挙にて、2年間の新執行体制の中に事務局長・事務局担当理事として就任させて頂きました。今回、公益法人法の改訂により、社員以外の外部からの理事・監事を迎えより公益性を持つようになり、組織体制も変更され、業務執行理事等の明確な職務体制となりました。県協会の事業や研修会など会員の皆様には、可能な限り会員の皆様のお手伝いさせて頂きます。今後ともよろしくお願ひします。

今年度、地域局長（業務執行理事）を拝命いたしました。これまでの鹿児島地区での経験の中で理学療法士社会の抱える問題や課題など色々と感じておりました。

業務執行理事



厚地リハビリテーション病院
東幸太

今年度、地域局長（業務執行理事）を拝命いたしました。

今後できるだけ多くの会員の方々の理学療法士として働く喜びや臨床や現場を楽しいと思っただけのような地区活動を行っていきたくと考えております。

地域局活動として主に地区研修会・地区症例検討会があり地域のセラピストとの交流を深め学術的にも高

め合えるよい活動ができればと考えております。

新組織となり今の時代に即した組織に生まれ変わりました。各地区との意見交換など今後進め県全体の連携を深めていければと考えております。

会員の皆様が、会員たる意味を再認識し、より新しい考え方をもちて地区活動が行えるように会員の皆様と共に一生懸命に頑張っていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

業務執行理事



介護老人保健施設グレースホーム
岩森俊

この度、地域局長兼地区担当理事、職能研修部理事を担当する事になりました。この部分のキーワードは「ネットワーク」だと考えております。各地域内・地域間・

管理者・病期別と縦横のネットワーク強化を図り、情報を正確かつ迅速に伝達できる環境は、会員の皆様にとって有益であると考えます。しっかりと会員の皆様のご意見をいただきながら活動して参ります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

業務執行理事



きりしま内科リハビリクリニック
湯地英充

今年度より事務局理事を拝命致しました湯地と申します。

理事としては三期目になります。今まで会員の皆様の意見に耳を傾けられるような理事になりたいと思ひ活動して参りました。本年度はさらに理学療法士が職能団体として団結しながら会員の皆様が興味を持つような活動を紹介したり、広報部・福利厚生部の力を借りながら現場と協会のパイプ役として情報交換をお手伝いできるような活動も重要な役割ではないかと思っております。至らない点が多々あるかと思ひますが皆様、よろしくお願ひ致します。

理事



鹿児島大学医学部保健学科
理学療法学専攻
大渡昭彦

職能局業務執行理事を拝命した鹿児島大学の大渡です。昨年度は鹿児島県高校野球連盟の高校生を対象とした肩肘検診、薩摩おいどんカップの協力、鹿児島県警のコンディショニングサポート、等多くのスポーツ活動支援に関わることができました。また、全国障がい者スポーツについても鹿児島大学の学生や松田史代先生を中心に練習会などのサポートを頑張ってくださいしています。今年度も職能局でスポーツ事業部を、牛ノ濱先生と松田史代先生にご協力をいただきながら担当させていただきます。

今年度はスポーツ事業部以外に小児・学校保健事業部も担当させていただく予定です。小山先生や小牧先生にご協力をいただきながら担当させていただきます。

これらの分野は今後の士会活動でも注目度が高くなっており、積極的に活動を展開していきたいと考えております。今後の活動に関しましては会員の皆様のご意見を伺いながら方向性を定めていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。ご意見、ご質問のある方は下記へご連絡ください。できるだけメールでご連絡をしていただくと助かります。今後とも宜しくお願いいたします。

鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻 大渡昭彦
〒890-8506 鹿児島市桜ケ丘8丁目35-1
TEL&FAX 099-275-6804
e-mail: oowatash@health.nop.kagoshima-u.ac.jp

理事



鹿児島第一医療リハビリ専門学校
神田 勝利

今年度より教育局 専門領域研修部担当理事を務めさせていただきます鹿児島第一医療リハビリ専門学校勤務の神田勝利と申します。

前任の理事・部長より引継ぎをいただき、今年度も部長・研修担当の先生方と一緒に活動ができるように努めてまいります。専門領域研修部の目的、事業内容としては専門性の高い治療技術・知識を持つ理学療法士育成のために自己研鑽を行う場として、小児分野・生活環境分野、内部障害分野（呼吸・循環）、神経分野、運動器分野、トピックス分野と多くの研修会を基本対面研修として企画運営する部となります。

各々、知識や技能向上を図り、臨床力向上に努めることはとても大切です。その為に、会員の皆様にとって、より良い研修会を企画開催できるよう活動してまいりますので、今後ともよろしくをお願いいたします。

理事



介護老人保健施設
ラ・フォンテいずみ
福永 裕樹

この度、2期目の理事を迎え、引き続き職能局を担当いたします。主に担当するヘルスケア事業部では、産業理学療法、産前産後のリハビリテーション等のヘルスケア分野における調査、アンケート、研修会等を企画いたします。また、保険政策企画部では、保険制度等の問い合わせ対応をはじめ、県・市町村に対し、理学療法士の活用が県民の保健、福祉の発展に有効であることを訴え、要望や政策提言を行います。そして、職能団体、組織としての意見を集約し、職能活動を通じて理学療法士の職域拡大へ繋がるよう尽力していく所存です。

今後、リハビリテーションを取り巻く環境の変化に対応するため、どうか皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

理事



恒心会おぐら病院
榎畑 純二

本年度より、職能局担当となりました恒心会おぐら病院の榎畑純二と申します。前任期では、大隅地区担当理事として地区、鹿屋市事業に関わらせて頂きました。

今回、はじめての職能局の担当理事となります。部長、部員の先生方と協力しながら、職務を遂行していきたいと考えています。また理学療法士の地位向上に少しでも寄与できればと思います。何卒宜しくお願いします。

理事



鹿児島大学医学部保健学科
理学療法学専攻
木山 良二

学術誌部ならびに学術支援部を担当させて頂く木山良二です。学術誌部では部員の方々と力をあわせて、「読みたくなる」「投稿してみたいくなる」学術誌「理学療法かごしま」を目指していきたいと思っています。また、学術支援部としては、研究助成などを通じて、会員の学術的・臨床的な発展をサポートできるように活動したいと考えています。

どちらの運営についても、会員の皆様からのご意見を取り入れ、より良い活動を心掛けていきたいと考えています。ご意見や要望などございましたら、気軽に声をかけていただくと嬉しいです（またはkiyama@health.nop.kagoshima-u.ac.jpまで）。

不手際もあるかと思いますが、会員の皆様のお役に立てるように精一杯取り組みたいと考えております。ご協力よろしくをお願いいたします。

理事



クオラリハビリテーション病院
鈴木 伸洋

始良地区・北薩地区の担当理事に就任いたしました鈴木と申します。

2地区の研修会や症例検討会等の企画運営に携わらせていただきます。始良地区・北薩地区にて地区活動を支えてくださっている地区リーダー（部員）の皆様のより良いサポートができ、各地区の会員の皆様の自己研鑽に役立つよう努力したいと存じます。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

理事



恒心会おぐら病院
永濱 良太

今年度より、大隅地区担当理事を拝命しました恒心会おぐら病院の永濱良太です。

4年間大隅地区長として活動し、また微力ではありますがスポーツ

事業でもお手伝いをさせていただきました。これらの経験を活かし、大隅地区を盛り上げていければと思います。理事1年目であり至らない点が多々あると思いますが、処先輩方にご指導いただきながら、新大隅地区長や各リーダーの方々と力を合わせて活動してまいります。大隅地区会員の皆さまに臨床にいかせる研修会等を企画していきたいと思っておりますので、要望などございましたらご相談ください。よろしくお願いいたします。

理事



みらいりハビリテーション病院
川上 剛

この度、鹿児島地区担当理事を拝命いたしました、川上 剛と申します。

鹿児島地区におきましては、市民向けの健康増進および介護予防事業を通じて、理学療法士の活躍の場をさらに広げるとともに、地域社会への貢献を目指して、会員の皆様と連携しながら取り組んでまいります。また、症例報告会や研修会を通じて、より多くの会員の皆様にご参加いただける交流の機会を創出し、横のつながりを強化するとともに、学術活動のさらなる活性化にも努めてまいります。

今後も、会員の皆様と力を合わせて鹿児島地区を盛り上げていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

理事



鹿児島医療技術専門学校
横山 尚宏

このたび、生涯学習部主担当理事、ならびに専門領域研究部副担当理事を拝命いたしました、鹿児島医療技術専門学校の横山です。

生涯学習部では、特に登録理学療法士の取得を見据えた研修を企画・運営してまいります。また、専門領域研究部では、各分野における専門性の向上を目的とした研修会の開催に携わってまいります。微力ではございますが、会員の皆さまの臨床力の向上と継続的な学びを支える一助となれるよう尽力いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

理事



米盛病院
久米 康隆

本年度から鹿児島地区理事を担当させていただくことになりました久米康隆です。

鹿児島地区は北部・南部・中央と3地区あり、非常に多くの会員が在籍しています。

学術研究、臨床力向上の機会推進を図るべく、地区研修会と症例検討会の企画運営を中心に活発な学術活

動を行っていきたいと考えています。理事・地区長の先生方と協働し鹿児島地区チーム一丸となって取り組んでいく所存です。会員の皆様からのご要望やご意見をいただきながら活動したいと考えますので、お気軽にお声かけください。

微力ではありますが、一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

理事



株式会社 和月
白浜 幸高

このたび、外部理事を拝命いたしました白浜幸高と申します。これまで、医療・介護・障害福祉・地域支援活動といった分野に携わってまいりました。これらの経験

を活かしながら、協会の皆さまの日々の取り組みがより良いものとなるよう、外部の立場から客観的な視点でサポートしてまいりたいと考えております。微力ではございますが、今後の協会のさらなる発展に少しでも貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

監事



今村総合病院
村山 芳博

引き続き監事を拝命させて頂く村山と申します。定款・細則に基づいた会の運営、また、会計監査を行いながら、会員の為のしっかりとした協会の活動に寄与できればと考えております。よろしくお願いいたします。

監事



竹田 寛

2年ぶりに今年6月より2年間監事を務めさせて頂くことになりました。今年4月に改正公益法人法（公益認定法）が施行され、公益法人はコロナ禍や自然災害等の社会的変化へ柔軟に対応できるよ

うになりました。しかし、一方で自律的にガバナンスを強化し、更に透明性の高い運営を行うことが求められます。外部監事の登用はその一旦です。とても責任が重く感じています。業務執行が法令定款に準じて適正に行われているかという視点で、毎月1回開催されます理事会へ出席させて頂き、財務報告へも定期的に目を通していきたくと思っています。理学療法士の皆様の協会が公益の名の下、ますます発展できるよう尽力して参りたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

「部長・地区長・委員長のあいさつについては、次回ニュースで掲載予定です。」

令和6年度 一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会 事業報告

【 事業の部 】

1. 地域リハビリテーション活動研修会

① 介護予防推進リーダー研修会

「介護予防事業に関連する行政組織・関連団体と福祉計画」 「介護予防事業における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の展開方法」

Zoomによるオンライン

10月5日 参加者29名 (PT12名、OT12名、ST5名)

② 地域ケア会議推進リーダー導入研修会

「地域包括ケアシステムについて」 「地域ケア会議に求められる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割」 「模擬会議の実際と心構え(グループ討議)」

Zoomによるオンライン

10月6日 参加者30名 (PT13名、OT12名、ST7名)

③ 地域ケア会議・介護予防推進リーダーステップアップ研修会

鹿児島第一医療リハビリ専門学校

1月25日 参加者16名 (PT13・OT1・ST2)

2. 訪問リハ研修会

・ステップアップ研修会 ライカ鹿児島・ウェブ

“療法士訪問”の可能性と多様性 ～ともに拓く、訪問リハと在宅ケアの未来～

一社) 日本訪問リハビリテーション協会 相談役 宮田 昌司 先生

9月21日 参加者 39名 (PT31・OT2・ST2・他職種/学生5)

・実務者研修 講師7名 Zoomによるオンライン

11月30日 参加者 40名 (PT22・OT9・ST9)

3. 人材派遣・相談事業

<委託事業>

イオンのわくわくウォーキングの講師派遣 17回

鹿児島市地域リハビリテーション支援事業

お達者クラブ等 243回(PT169・OT37・ST37) 参加者 3,742人

よかよか元気クラブ 608回(PT491・OT117) 参加者6,512人

ボランティア研修会 8回 個別相談 1回

鹿屋市地域リハビリテーション活動支援事業 78回 (PT42、OT36) 参加者1,058人

鹿児島県リハビリテーション専門職派遣事業

各市町村へのPT・OT・STの派遣事業 6回 (PT4・ST2)

<委員の推薦>

鹿児島市介護予防地域ケア会議 3地区4回(PT12・OT12・ST12)

始良市地域ケア個別会議 (PT3・OT3・ST3) 委員推薦

鹿屋市認知症初期集中支援チーム検討委員会委員推薦 OT1名

鹿児島市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施推進協議会 委員推薦 PT1・OT1

鹿児島県在宅医療・介護連携推進協議会 委員推薦

鹿児島県循環器病対策推進協議会 委員推薦

南九州市在宅医療・介護連携推進事業 多職種研修会 講師派遣

4. 災害リハに関する事業

福祉避難所の概要説明及び意見交換会 1回

鹿児島市災害時の情報伝達訓練 1回

鹿児島JRATへの協力

【 管理の部 】

会員数4,129名 (PT 2,414名・OT 1,113名・ST 602名) 2025年3月31日現在

公文書の発送

理事会・総会の開催

収支報告書の作成

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,924,535	7,606,085	△ 681,550
未収金	623,870	1,740,064	△ 1,116,194
流動資産合計	7,548,405	9,346,149	△ 1,797,744
2. 固定資産			
(1)基本財産			
	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
有形固定資産	0	0	0
什器備品	3	3	0
無形固定資産	2	2	0
その他固定資産合計	5	5	0
固定資産合計	5	5	0
資産合計	7,548,410	9,346,154	△ 1,797,744
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	23,540	1,500,000	△ 1,476,460
前受金	0	0	0
預り金	823,442	0	823,442
流動負債合計	846,982	1,500,000	△ 653,018
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	846,982	1,500,000	△ 653,018
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2.一般正味財産			
	6,701,428	7,846,154	△ 1,144,726
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	6,701,428	7,846,154	△ 1,144,726
負債及び正味財産合計額	7,548,410	9,346,154	△ 1,797,744

一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	昨年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息			
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息			
③ 受取負担金			
士会負担金			0
④ 受取会費			
会費	425,900	408,600	17,300
⑤ 事業収益			
委託事業収益	9,295,930	10,062,900	△ 766,970
研修会事業収益	308,000	162,500	145,500
⑥ 雑収益			
受取利息	5,349	98	5,251
経常収益計	10,035,179	10,634,098	△ 598,919
(2) 経常費用			
諸謝金	8,255,597	7,913,961	341,636
会議費		157,792	△ 157,792
報酬	209,615		
賃借料	320,500	266,330	54,170
通信運搬費	127,380	112,122	15,258
ソフトウェア			0
消耗什器備品費			0
印刷製本費	56,878		56,878
消耗品費	14,655		14,655
旅費交通費	9,190	101,818	△ 9,828
人件費			0
事業委託費	1,500,000	1,500,000	0
委託費	329,120	387,200	△ 58,080
負担金		100,000	△ 100,000
渉外費			0
福利厚生費		24,094	△ 24,094
什器備品費			0
修繕費	48,840	46,200	2,640
光熱水費			0
租税公課	73,000	73,150	△ 150
支払手数料	152,330	155,752	△ 3,422
減価償却費	0	0	0
経常費用計	11,179,905	10,838,419	341,486
評価損益等調整前登記経常増減額	△ 1,144,726	△ 204,321	△ 940,405
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,144,726	△ 204,321	△ 940,405
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,144,726	△ 204,321	△ 940,405
一般正味財産期首残高	7,846,154	8,050,475	△ 204,321
一般正味財産期末残高	6,701,428	7,846,154	△ 1,144,726
II 指定正味財産増減の部			
① 受取寄附金			
受取寄附金	0	0	0
当期正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,701,428	7,846,154	△ 1,144,726

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産			
現金	鹿児島県POS連絡協議会事務局	運転資金	0
預金	鹿児島銀行県庁支店	運転資金	6,081,594
	鹿児島銀行県庁支店	研修参加費徴収	842,941
未収金		リハビリテーション専門職派遣事業・鹿児島市・鹿屋市委託事業・会費	623,870
流動資産合計			7,548,405
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(2)特定資産			
(3)その他固定資産			
有形固定資産			
什器備品	パソコン2台・エアコン	各事業及び管理業務で使用している共有財産である。	3
無形固定資産	ソフトウェア	ホームページ作成ソフト	2
固定資産合計			5
資産合計			7,548,410
1. 流動負債			
未払金		理事会活動費	23,540
前受金			
預り金		報酬税	823,442
流動負債合計			846,982
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			846,982
正味財産			6,701,428

一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
連絡協議会
令和6年度監査報告書

令和7年4月21日・5月15日、事業ならびに会計監査を一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会事務局にて行いました。その結果、活動も活発に行われ、事務局活動、理事会活動の記録・資料も適正に保存されていました。

会計監査につきましては、領収証及び会計簿他明細書を調査しました。その結果、領収書や通帳残高等会計は遺漏なく、適正に処理されていました。

次年度も引き続き、活発な活動にて、貢献されることを願います。

以上、監査報告といたします。

令和7年5月15日

監事 村山 芳博

監事 松尾 康弘

監事 安藤 千恵



令和7年度 一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会 事業計画

【 事業の部 】

1. 地域リハビリテーション活動研修会

- ① 地域ケア会議推進リーダー導入研修会 オンライン形式
「地域包括ケアシステムについて」「地域ケア会議に求められる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割」「模擬会議の実際と心構え（グループ討議）」
- ② 介護予防推進リーダー養成導入研修会 オンライン形式
「介護予防事業に関連する行政組織・関連団体と福祉計画」「介護予防事業における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の展開方法」
- ③ ステップアップ研修会

2. 訪問リハ研修会

実務者研修会 8月

ステップアップ研修会 11月 オンラインでの開催を予定

3. 人材派遣・相談事業

<委託事業>

イオンのわくわくウォーキングの講師派遣

鹿児島市地域リハビリテーション支援事業

お達者クラブ等

よかよか元気クラブ

ボランティア等への講師・個別相談

鹿屋市地域リハビリテーション活動支援事業（地域ケア個別会議、専門職派遣）

鹿児島県リハビリテーション専門職派遣事業

<委員の推薦>

鹿児島市介護予防地域ケア会議 3地区

始良市地域ケア個別会議

鹿屋市認知症初期集中支援チーム検討委員会委員推薦

鹿児島市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施推進協議会

鹿児島県在宅医療・介護連携推進協議会

鹿児島県循環器病対策推進協議会

4. 災害リハに関する事業

福祉避難所の概要説明及び意見交換会

鹿児島市災害時の情報伝達訓練

鹿児島JRATへの協力

【 管理の部 】

会員数管理

公文書の発送

理事会・総会の開催

収支報告書の作成

一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会

令和7年度収支予算書

自：令和7年4月1日 至：令和8年3月31日

科 目	予算額	昨年度予算額	備 考
I 収入の部			
1 受取負担金			
士会負担金			
2 受取会費			
会費	412,900	425,900	¥100*4,129名 (PT2,414名・OT1,113・ST602)
3 事業収益			
委託事業収益	9,872,500	9,475,350	鹿児島市・鹿屋市地域リハ支援事業 県リハ専門職 派遣事業 イオンわくわくウォーキング教室
研修会事業収益	300,000	250,000	訪問リハ・リーダー研修会、ステップアップ研修会
4 雑収益			
受取利息	5,000	150	預金利息等
当期収入合計(A)	10,590,400	10,151,400	
前期繰越収支差額	6,701,423	7,348,509	
収入合計(B)	17,291,823	17,499,909	
II 支出の部			
1 事業費			
諸謝金	10,000,000	10,000,000	
報酬	500,000	500,000	
会議費	100,000	100,000	
賃借料	400,000	300,000	家賃20,000/月 会場費
通信運搬費	250,000	250,000	電話・鹿銀FB、発送費
ソフトウェア	0	0	会計ソフト
消耗什器備品費	200,000	200,000	
印刷製本費	150,000	100,000	資料印刷代
消耗品費	150,000	150,000	
旅費交通費	300,000	300,000	
人件費	0	0	
事業委託費	1,500,000	1,500,000	鹿児島県理学療法士協会
委託費	500,000	500,000	ケアリハそうぞう
負担金	200,000	200,000	災害時リハビリテーション推進協議会
渉外費	50,000	50,000	
福利厚生費	100,000	100,000	慶弔費
什器備品費	200,000	200,000	
修繕費	100,000	100,000	HP管理更新料
光熱水費	30,000	30,000	
租税公課	100,000	80,000	市民税、県民税、収入印紙
支払手数料	200,000	200,000	振込手数料 かぎんFB基本料金
支出合計	15,030,000	14,860,000	
3 予備費	2,261,823	2,639,909	
当期支出合計(C)	17,291,823	17,499,909	
次期繰越収支差額(B) - (C)	△ 6,701,423	△ 7,348,509	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	

第38回 鹿児島県理学療法士学会 報告

第38回鹿児島県理学療法士学会

学 会 長 湯 地 英 充

準備委員長 野 島 丈 史

令和7年2月9日 第38回鹿児島県理学療法士学会にご参加いただきまして誠にありがとうございました。関係各位の皆様方のご理解とご支援のもと、本学会が滞りなく終了しましたこと準備委員一同、心から感謝申し上げます。

本学会はテーマを「Physical therapist is fun」～進取の心～としまして対面開催を主として、当日、ご参加頂けなかった会員の方の為にオンデマンドで動画を配信しました。ライカ南国ホールという好立地の場所で開催できたことや講師に新潟医療福祉大学江玉 睦明先生、前日本理学療法士協会長 半田 一登先生、声楽家 米良 美一氏という素晴らしい講師をお招きできたこと、さらに35演題という大変多くの演題をエントリーして頂いたことで、対面参加370名 非会員11名 OT2名 医師1名 一般参加9名 学生7名 オンデマンド69名 計459名という本当に多くの方々に学会を作って頂きました。

本当にありがとうございました。

最後に本学会の開催に携わっていただきました、準備委員長をはじめスタッフの皆さまには深く感謝申し上げます。またお忙しい中、ご尽力いただき、スムーズな進行を実現していただきました参加者の方々、本当に多くの皆様方にご支援ご協力を賜りましたことに心から感謝申しあげてご報告とさせていただきます。今後とも何卒、よろしくお願い致します。



第38回鹿児島県理学療法士学会 受賞者紹介

2025年2月9日に開催された、第38回鹿児島県理学療法士学会の受賞者が決定しました。表彰された先生方のコメントを以下に紹介します。

学会長賞受賞



南鹿児島さくら病院 西川 智喜 先生

(現；ヨネックス株式会社 新潟工場 研究開発室先端技術研究課)

演題名：脳卒中後に遷延した肩関節脱臼が反復末梢神経磁気刺激によって改善された症例

この度は、学会長賞という身に余る評価をいただき、心より御礼申し上げます。また、今回対象となった患者様、日頃よりご指導いただいた南鹿児島さくら病院の皆さんにも感謝申し上げます。

本発表では、脳卒中後に遷延していた肩関節亜脱臼に対する、反復末梢神経磁気刺激の効果と持続性を報告しました。変化が起きにくいとされる時期においても、介入のあり方次第で何らかの反応が得られる可能性がある。あらためて、“変化を諦めない”という臨床の本質のようなものを、今回は幸運にも実感することができたように思います。現在、私は臨床を離れていますが、現象の裏にある仕組みを言語化し、自らの手で仮説を組み立て検証していく営みは、臨床、研究、分野を問わず共通する姿勢だと感じます。この賞には私が思うその過程を、少しでも肯定していただけたような気がしています。

これからも新たな問いにぶつかることを楽しみに、粛々と歩みを続けていきたいと思っています。

学会奨励賞受賞

鹿児島大学病院 白浜 佳晃 先生

演題名：大動脈解離後の脊髄梗塞により対麻痺を呈した症例に対し、
促通反復療法と神経筋電気刺激療法を併用し麻痺の改善が得られた1症例

この度は、学会奨励賞という名誉ある賞を頂き大変光栄に思います。本発表に際しご協力いただいた患者様をはじめ、ご指導いただいた医師や諸先輩方、日々支えてくださったリハビリテーション部の皆様に、心より感謝申し上げます。

脊髄梗塞に対するリハビリテーションの具体的な手法に関する報告は、依然として少ないのが現状です。今回、血液透析に伴う倦怠感や血圧低下といった合併症により積極的な運動療法の実施が困難であった症例に対し、神経筋電気刺激療法併用下での促通反復療法を実施することで機能改善が得られた経験を報告致しました。本報告を通じて、客観的評価の重要性や、多角的なアプローチを行うために日々研鑽を重ねることの大切さを再認識いたしました。

今後もさらに多くの症例を通して併用療法の治療効果を検討していき、脊髄梗塞をはじめとした運動麻痺に対する最適なりハビリテーションの在り方を追求し、臨床に還元できるよう努めてまいります。

授賞式を2025年6月21日代議員総会前に実施しました。



表彰式時写真

(左より、湯地学会長、白浜佳晃先生、西川智喜先生(ウェブ)、宮崎宣丞先生、平名会長)



次回の第39回県学会は2026年2月15日、いちき串木野市で予定しております。
詳細決まりましたら、またホームページ等でご案内いたします。

学術誌「理学療法かごしま」優秀論文賞の受賞について

2022年当会学術誌「理学療法かごしま」が発刊されました（掲載論文は、J-stage内に掲載されています）。

査読等による厳正な審査の結果、以下のとおり令和5年度優秀論文賞が選出されました。

原著論文：リバーズ型人工肩関節術後1年時における日常生活動作能力と肩関節可動域の目標値
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 整形外科学
宮崎宣丞先生
（現在は熊本保健科学大学所属）



先日6月21日に授賞式があり、コメントを下記にお知らせいたします。

この度、第2回の理学療法かごしま（2023年度）の優秀論文賞を賜り、大変光栄に思います。本論文は、前職である鹿児島大学整形外科に所属していた時に掲載させていただいたものであり、選出いただいた学術誌部長の金谷親好先生をはじめとする協会誌の編集委員の先生方、会長の平名章二先生に深く御礼申し上げます。

本研究は、リバーズ型人工肩関節置換術を実施し、術前と術後1年時の肩関節機能が計測可能であった15名（平均78歳）において、術後1年時JOAスコアにより経過良好群（83点以上）、経過不良群（83点未満）に分類し、良好な術後成績の目標値を検討しました。結果として、経過良好群を予測するカットオフ値は、JOAスコアのADLが8.5点（10点満点）、肩関節の屈曲角度が125°、外転角度が110°、内旋が4点（手背が仙骨へ到達）でした。本研究結果は、リバーズ型人工肩関節置換術後の理学療法では、機能向上と並行してADLでの使用を見据えた動作指導を実施する必要性が示され、JOAスコアのADLの項目を参考に日常生活での使用状況を把握することは重要であると考えます。本研究結果が、肩関節患者の良好な術後成績獲得に向けた一助になれば幸いです。

本研究は私が筆頭著者ではありませんが、共著者である関連病院の療法士の方々が多忙な臨床業務のなかで術前・術後の評価に協力していただけたことで、大学病院以外で受診される肩関節患者の追跡やデータの蓄積が可能となり、本論文の執筆に至りました。鹿児島大学整形外科の谷口昇教授をはじめ、共著者の皆さま、関連病院で肩関節機能評価に関わってくださった皆さまに感謝いたします。今後も周囲への感謝を忘れずに研究に取り組み、自己研鑽を続けて参ります。

この度は誠にありがとうございました。

第39回鹿児島県理学療法士学会のお知らせ

第39回鹿児島県理学療法士学会

学 会 長 大久保 鉄 男

準備委員長 瀧 上 祐 一

この度、第39回鹿児島県理学療法士学会を、令和8年2月15日にいちき串木野市の「いちきアクアホール」で開催することが決定いたしました。

今学会は昨年度に発足致しました、西薩地区で担当することになりました。西薩地区は日置市といちき串木野市の2市で構成されている地区です。発足したばかりの地区ですが、若手からベテランまでのメンバーが準備委員として集まり、様々な意見を出し合いながら、準備を進めております。

協会員の皆様にとって有意義な学会となり、学会後の臨床、活動がより充実したものになりますように2つの講演を予定しております。

皆様には是非いちき串木野市に足を運んでいただき、お会いできますことを楽しみにしております。今後県土会HPや公式LINE等で定期的には詳細をご案内致しますので確認のほどよろしくお願い致します。皆様のご参加と演題へのご登録をスタッフ一同心よりお待ちしております。

第39回鹿児島県理学療法士学会

学会長 大久保 鉄 男

- ・ 会 期 令和8年2月15日 (日)
- ・ 会 場 いちきアクアホール
- ・ 一般演題 ポスター演題、口述演題 (募集期間は8月～9月予定)
- ・ 学 会 長 大久保 鉄 男 (馬場病院)
- ・ 準備委員長 瀧 上 祐 一 (いちき串木野市医師会立脳神経外科センター)
- ・ お問い合わせ先 E-mail : 39thseisatu@gmail.com

第39回鹿児島県理学療法士学会演題募集要項

学 会 長 大久保 鉄 男
準備委員長 淵 上 祐 一

謹啓 時下ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、このたび第39回鹿児島県理学療法士学会を 2026年2月15日に、現地（会場 いちきアクアホール）にて開催する運びとなりました。今回は西薩地区で初めての開催となり、皆様と直接お会いできることを心より楽しみにしております。つきましては、多くの皆様にご応募いただきたく、下記の要領にて演題を募集いたします。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

なお、演題応募に関するご不明な点がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

演題募集要項

I. 応募資格

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会会員に限ります。

II. 応募方法

1. E-mailにて下記の応募記載項目を記載し、演題原稿ファイルを添付して送信してください。演題原稿ファイルにつきましては、「IV」の作成要領に従って作成してください。Emailを利用できない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
2. 送られてきたメールのアドレスを今後の連絡用メールアドレスとして使用させていただきます。別な連絡用アドレスを希望される場合はその旨をメールに記入してください。
3. E-mail受信後1週間以内に受信確認の返信メールをお送りします。1週間経っても返信メールが届かない場合はお手数ですが以下のお問い合わせ先までお問い合わせください。

4. 応募記載項目

メールタイトル：「第39回県学会演題応募」

- ① 発表者の氏名、会員番号、所属施設
- ② 演題タイトル
- ③ 演題分類番号（以下の演題分類表より選択してください）
01. 基礎理学療法 02. 神経理学療法
03. 運動器理学療法 04. 内部障害理学療法
05. 生活環境支援理学療法 06. 物理療法
07. 教育・管理理学療法 08. その他

なお、発表形式は学会長の判断で決定致しますので、ご了承ください。

III. 演題応募期間（期間厳守）

2025年8月1日（金）14：00から
2025年9月16日（火）14：00まで

IV. 演題原稿ファイル作成要領

1. 原稿のファイル形式はMicrosoft Word 形式とします。フォント：MS明朝、サイズ：10.5で作成してください。
2. 演題タイトル、氏名、所属施設、本文の順番に改行して記載してください。
3. 順番に改行して記載してください。
4. 氏名は発表演者を先頭にし、発表演者名の前には○を付けてください。
5. 共同演者は筆頭演者の後ろに記載し、各氏名の間にはスペースを付けてください。
6. 所属施設が複数ある場合には、氏名の後ろに番号を振り、番号順に改行して記載してください。
7. 本文（演者名・所属を除く）の文字数は1400字以内を厳守してください。
8. 本文には【目的】・【方法】・【結果】・【考察】・【まとめ】・【倫理に関する記述】等の小見出しを付けてください。
9. 図表は使用しないでください。なお、学会誌のフォント、レイアウト等は学会側で調整させて頂くことをご了承ください。

V. 応募上の注意

1. 応募された演題と学会当日の発表内容が大幅に異なることのないようにしてください。
2. 発表演者として複数の演題を応募することは認められません。1人1演題を遵守してください。

3. 共同演者も原則として本会会員に限りませんが、会員以外の共同演者である場合は、その主体が本会会員であることが必要です。
4. 本文中に研究対象にとって不利益となるような属性（人名、施設名等）を記載しない等、プライバシーポリシーに配慮してください。
5. 演題原稿に関する著作権は第39回鹿児島県理学療法士学会および筆頭演者に帰属し、学会誌へ掲載されます。
6. 採択後の演題取り消しはできませんので、ご注意ください。
7. 発表演者が発表できない場合は必ず共同演者（本会会員）が発表を行ってください。

VI. 二重発表について

二重発表の定義は、すでに発表されたものと実質的に同じ内容の発表とします。ただし、以下は除外いたします。

1. 日本理学療法学会以外での発表
 2. 特殊発表（シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなど）
 3. 他言語での発表
- 二重発表は一般演題では原則として好ましくありませんが、学会長の裁量で発表可能なこともあります。既発表演題について学会名と演題名、発表年月をメールにて自己申告してください。演題の採択につきましては「IX」をご参照ください。

VII. 応募演題に関する倫理と利益相反に関する注意点

- ヘルシンキ宣言等（倫理的な配慮）に沿った研究であることを確認し、説明と同意や個人情報の保護などの倫理的な配慮に関する記述をしてください。
- 厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」をよく理解して対応してください。
- 必ず本文中の【倫理に関する記述】欄を設け倫理に関する記述をしてください。記述がない場合は取り下げる場合があります。
- 倫理委員会の承認を得ている場合には、承認番号を記載してください。
- 利益相反の可能性がある事項（寄付金など）がある場合、研究助成がある場合はその旨を明記してください。
- これらについては、すべて登録者の自己責任において登録を行ってください。

※ 上記の注意点の記載に不備がある場合は演題不採択となる場合があります。

VIII. 発表形式について

1. 発表形式は学会長の判断で口述発表かポスター発表かを決定致します。
2. 発表時間は7分以内、質疑応答は3分以内とします。（演題数により変更される場合があります。）
3. 口述発表スライド作成要領
PCプレゼンテーションを使用し、ファイル形式はMicrosoft Power point形式とし、スライド枚数は発表時間内であれば特に制限を設けません。
4. ポスター作成要領
 - 1) ポスター掲示には、ポスターパネルを用意いたします。
 - 2) 演者は指定された時間帯に従ってポスターの貼付及び撤去を各自行ってください。
 - 3) ポスター掲示面積は縦150cm×横90cmです。パネル左上に演題番号を学会側で用意致します。その右側に縦20cm×横70cmのサイズで演題タイトル・所属・氏名（発表演者の氏名の前に○）を表記してください。示説スペースは縦130cm×横90cmです。

IX. 演題審査

1. 演題の採択は学会の査読委員による結果を参考に、学術的発表に資する演題と学会長が判断したものから選出し決定します。また二重発表演題の申告内容はoriginality、独創性を評価対象に含まれます。特にプレナリー演題、学会賞演題などの採用にあたっては重要視いたします。
2. 採否結果通知は12月中旬頃を予定しています。

X. 生涯学習のポイントについて（筆頭演者）

認定・専門理学療法士の更新要件である、「都道府県理学療法士学会での一般発表の筆頭演者」または、4.学会での発表等4-1) 都道府県理学療法士学会での一般発表の筆頭演者：履修点数20点のいずれかを選択できます。
後期研修のE1～3 職域別研修（事例）は1症例の発表時間が30分以上を推奨のため、今大会の発表ポイントには適応されません。

XI. 応募先およびお問い合わせ先

第39回鹿児島県理学療法士学会
準備委員長 淵上祐一（フチガミ ユウイチ）
E-mail:39thseisatu@gmail.com

R7年度 新卒者オリエンテーションを開催しました

生涯学習部担当理事 神 田 勝 利
部長 横 山 尚 宏

4月20日にハイブリッド形式にて新卒者オリエンテーションを開催しました。

会場79名、オンライン29名、合計108名の新人先生方に参加いただきました。

オリエンテーションは、会長のあいさつにはじまり、施設・病院等で働き始めるうえで大切な「理学療法と倫理」。これから理学療法士として働いていく上で職域の問題や診療報酬関係で必要となってくる「理学療法連盟政策」では田中まさし先生にもオンデマンドで激励のお言葉をいただき、職域を守るための政治力を伝えていただきました。また日本理学療法士協会についての入会案内等について講義・説明を行いました。

先生方からは熱い思いを感じることができ、5年後の自分、10年、15年後の自分や理学療法の未来、目標を考える機会になったかと思います。1年目でもベテランでも「患者さんを元の生活に戻したい、そのためにも知識、技術をもっと身につけたい。」という思いに変わりはありません。県士会は先生方の思いに応えるべくサポートしていきますので、一緒に成長しましょう。



また、前期研修「A」を6月、7月、8月、9月に開催いたします。（詳細は県士会ホームページでご確認ください）前期研修は最短2年間で取得できますので、日程調整のうえ、受講いただきますようお願いいたします。

後期研修「A」は7月、「C」は10月、11月、12月頃で開催を予定しています。（こちらにつきましても詳細は県士会ホームページをご確認ください）後期研修は最短3年間で取得できます。

前期研修、後期研修の受講に関しては、県士会ホームページにアクセスしていただき、グーグルフォームで参加申し込みを受付いたします。

新人教育プログラム研修会は、日本理学療法士協会全国共通の資料で講義を行っています。

(e-ラーニングでも受講可能です。参加が難しい方はぜひそちらを検討下さい。詳しくは日本理学療法士協会HPをご参照ください。)履修確認は、日本理学療法士協会マイページより、確認できます。

令和6年度 保険政策企画部会報告

職能局業務執行理事 福 永 裕 樹

職能局業務執行理事 福 田 秀 文

保険政策企画部部長 宮 雅 紀

保険政策企画部は、旧医療保険部、介護保険部、渉外部、政策検討委員会の機能を統合した部門として、理学療法士の職域拡大、診療・介護報酬制度の情報収集、政策立案、情報発信、関連団体との連携強化を目的として活動しています。

令和6年度は、学校保健における理学療法士活用推進、行政理学療法士の配置推進、産業理学療法への積極関与、実習指導者講習会の予算化の4つの政策に注力し活動を行いました。その中で「行政理学療法士の配置推進」については、2025年3月の部会において、鹿屋市保健福祉部健康増進課の川越美千代代理理学療法士をお迎えし、理学療法士の行政における役割と課題について意見交換会を開催いたしましたので、ここにご報告いたします。

○行政理学療法士の現状

- ・自治体の予算計画に基づいた健康増進事業への関与

産後女性向けエクササイズ、20～30代女性の運動習慣向上教室、乳幼児健診やその後の発達フォロー教室、事業所の健康づくり支援など健康増進法に基づく事業に取り組んでいる。集客方法は母子健康手帳健診時の案内や自治体アプリを通じて実施。

○行政理学療法士としての課題

- ・予算確保：市の健康づくり計画に基づき、予算確保が課題。
- ・認識不足：保健師のような明確な採用基準がなく、職種枠が確立されていない。
- ・採用の背景：総務課および政策人事部門が配置決定権を持つ。
- ・連携不足：他市町村との行政理学療法士間ネットワークが希薄。地域のPTとの連携。

○保険政策企画部としての今後の取り組み

- ・行政職配置の推進に向け、鹿児島県理学療法士連盟と協同、連携、情報提供を行い、地方・国会議員への情報提供、政策提言強化、県・市町村への理学療法士の認知度向上、成功事例の情報共有を行う。
- ・健康増進事業の拡大へ、産業保健、20～64歳向けプログラムの開発、広報部と連携したSNS活用、職能局内部部門と連携し、運動効果測定の実施を検討する。
- ・法改正と制度改革への働きかけとして、リハビリテーション議員連盟との連携や医療系団体との協議内容、通知やガイドライン等の会員に向けた情報提供を行う。
- ・市町村レベルの活動推進、自治体間ネットワークの構築に向けた組織局との連携強化、地域特性に応じた政策立案、情報提供を行う。

○おわりに

今回、保険政策企画部の活動報告をさせていただきました。理学療法士の行政職としての活用は、地域社会の健康増進に直結する重要な課題です。今後も積極的な政策提言と情報提供を通じて、理学療法士の役割拡大に向けた取り組みを強化してまいります。また、理学療法士連盟と協働し様々な取り組みを行っていきます。ご意見、ご要望などございましたらご連絡いただければ幸いです。皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

保険、政策に関する問い合わせなどありましたら、下記までご連絡頂きますと幸いです。

診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定に伴うお問い合わせフォーム

<https://forms.gle/X7Cb6kHQBPupvukq6>

MAIL:kpta.hoken@gmail.com



研修会報告（専門領域神経系研修会）

専門領域研修部理事 岩 森 俊
部長 戸 田 博 之
神経系担当 上 橋 秀 崇

○令和6年度 専門領域研修部 研修会

テーマ：症状に応じた認知神経リハビリテーション

講師：上 橋 秀 崇 先生

会 場：鹿児島医療福祉専門学校

日 時：令和7年3月2日 9:00 ~ 12:10

参加者：10名

今回、「症状に応じた認知神経リハビリテーション」というテーマで研修会を開催いたしました。講師の上橋先生から、「認知理論」に基づいた認知神経リハビリテーションについて、様々な症状に対してどのような考えでどのような道具を使って認知過程を活性化し脳の可塑性を促していくのか、症例の生活や趣味における動きを元に訓練に繋げる観察の必要性、訓練の方法を座学から上肢・下肢・手指・体幹とデモンストレーションを交えて研修を進めていただきました。研修後のアンケートでは「デモンストレーションで身をもって感じられた、臨床経験を元に講義され分かりやすかった」というコメントや「来てよかった」と意見もいただき、対面実技研修でしか感じることでない良い研修になったと思います。今回の研修を通して学んだ認知神経リハビリテーションを患者の状態に合わせて選択し、普段の臨床の場で生かしていただければ幸いです。

今後もより多くの会員の方々と一緒に学ぶ機会を設けていきたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。



研修会報告（専門領域第2回循環器系研修会）

専門領域研修部理事 岩 森 俊

部長 中 尾 周 平

循環器系担当 菅 原 直 美

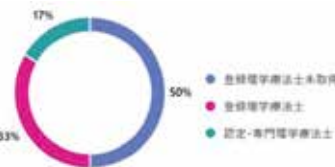
○令和6年度 専門領域研修部 第2回循環器系研修会

令和7年3月9日(日)に、『循環器疾患と理学療法 beside heart disease～「末梢動脈疾患」「腎不全」を中心に～』をテーマとして研修会を開催致しました。参加者は29名で、幅広い経験年数の先生方、他領域で御活躍されていらっしゃる先生方(グラフ1)、また今回は他職種の先生にも御参加頂き、運営の立場と致しまして大変嬉しく思っております。

Q1) 理学療法士になられて何年目？



Q2) あなたのキャリアは？



Q3) 心リハ業務に携わっている？



グラフ1

講師には、公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院の西 洋樹先生、医療法人青翔会 きくち内科・糖尿病クリニックの宇都 良大先生、医療法人仁胤会 前田内科クリニックの上口 崇先生をお招き致しました。基礎から臨床で活かせる内容まで習得することができ、非常に充実した講習会だったのでないかと存じます(研修会の様子：写真1,2,3)。



写真1



写真2



写真3

また、皆さんに興味をお持ちのテーマを伺ったところ、「CPXに代わる運動耐容能の指標」「最新の知見」「患者指導、運動処方」「リスク管理」「急性期リハにおける着目すべき点」「多臓器疾患」などなど、貴重な御意見を沢山頂戴致しました。今後の運営に反映するべく、努力する所存でございます。

次年度は、いよいよ鹿児島市を離れて、循環器専門領域研修会を開催する予定です。「今まで遠くてなかなか参加出来なかった、、、」という方、この機会に是非御参加下さい。鹿児島市にお住まいの方にとっては少し遠くなるかもしれませんが、ドライブがてらに遠乗りして御参加頂ければ、大変幸甚でございます。運営部一同、心よりお待ちしております。

スポーツ事業部 業務委託報告

「スポーツ事業部 薩摩おいどんリーグ2025普及活動のご報告」

スポーツ事業部理事 大 渡 昭 彦
部長 轟 原 与 織
部長 松 田 史 代

○令和6年度スポーツ事業部 障害予防教室事業委託

会 場：平和リース球場 会議室

日 時：令和7年3月9日（日） 10：00～11：30

協力者：理学療法士3名（運動器の健康・日本協会 成長期のスポーツ障害予防事業講師養成講習会修了者）

参加者：小・中学生、保護者 18名

薩摩おいどんリーグは2023年から始まった野球の交流戦で、大学・社会人・プロを交えたカテゴリを超えたハイレベルな試合が県内各地で開催されています。さらに、野球を通じた普及活動にも力を入れており、試合中の中学生ベンチ入り体験や指導者向け技能講習が開催されています。その一環として、障害予防教室も開催されており、3回目となる今回は医師と理学療法士が協力し上記の通り開催いたしました。

本会からは永濱良太先生（恒心会おぐら病院）・松元亮太先生（馬場病院）・鮫島智志先生（今村総合病院）が講師派遣され、全国共通の障害予防プログラムである「PITCH SMARTⅢ」、「ストレッチ9」、「体幹トレーニング9」について、座学・実技を交えて実施しました。

参加した選手も真剣に話を聞き、ストレッチやトレーニング方法について学び、実際に柔軟性や筋機能の向上が必要な個所について身をもって感じていました。また保護者の方からも、「家で毎日させます」などの声も聞かれました。今回、薩摩おいどんリーグ普及活動障害予防教室を通じて、野球による投球障害予防への意識も高まったのではないかと感じております。

また、上記3名の先生方には2025年1月12日（日）に野球の指導者を対象とした、「成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会」の座学・実技指導を担当していただきました。1月の指導者に引き続き、3月の選手・保護者への講習会にご尽力いただき、誠にありがとうございました。

最後になりますが、スポーツ障害予防の為には、選手・指導者・保護者に対しての啓発活動が重要と感じており、現場と医療側の良好な関係性を築きあげることで、今後更なるスポーツ環境が整っていくことを期待しております。2025年度もスポーツ事業部への活動について積極的に参加していただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。



永濱良太先生



松元亮太先生



鮫島智志先生

鹿児島県理学療法士協会 2025年度スポーツ事業部研修会のご案内

(公社) 鹿児島県理学療法士協会 会長 平 名 章 二
理事 大 渡 昭 彦

2023年度・2024年度と鹿児島県高校野球連盟と協力し、高校生のメディカルチェックを行ってまいりました。今年度の肩肘検診の開催は今のところ未定の状態ですが、2025年度開催された場合の協力者向け、および運動器系の臨床現場でも活かせる肩・肘関節を中心としたフィジカルチェックの研修会をスポーツ事業として企画いたしました。2023年・2024年度は肩肘検診協力者向けの研修会でしたが、今回は参加対象者を拡大しています。実技を取り入れた研修会ですので、学びもより深まると思います。皆様の多数の参加をお待ちしております。

※2025年度の肩肘検診が開催された場合、新規の方はこの研修会の参加が必須条件となります。既に2023年・2024年度の研修会に参加された方々は、参加必須ではありませんが再学習の参加も歓迎いたします。

研修会のご案内

日 時：令和7年10月5日（日）午前の部 9：30～12：40 セミナーID 146113

テーマ：「（臨床で活かせる）肩・肘関節を中心としたフィジカルチェック研修会」

区分3-カリキュラムコード38：理学療法評価 3ポイント

講 師：吉 田 研 吾（今村総合病院スポーツ整形外科リハビリテーションセンター、運動器認定理学療法士・スポーツ理学療法専門理学療法士）

参加費：会員 1,000円（資料代として）（鹿児島県会員のみのお受付です）

申込方法：JPTA マイページより、上記の各セミナーID で検索し、申込み・支払い手続きをしてください。

申込(振込)期限：支払い方法によって申込期限が異なります。詳細はマイページをご参照下さい。

クレジットカード払い：鹿児島：9/28（口座振替および現金振込での対応はありません）

定 員： 各25名（先着順：定員を超過した場合は受付期間内であっても締め切ります）

申込期間：鹿児島：7月14日（月）～9月28日（日）

※ 研修会開催1週間前までに案内メールが来ない場合は、お手数ですが下記までメール連絡をお願い致します。また、携帯からお申し込みの場合、必ず返信メールが受信できるように設定をお願い致します。

※ この研修会参加で付与されるポイントは、「認定・専門理学療法士（更新点数）」もしくは「登録理学療法士（更新ポイント）」のみです。「認定・専門理学療法士」もしくは「登録理学療法士」のいずれかの更新点数・ポイントです。重複しての点数・ポイント付与はできません。申し込み時に選択いただき、その後の変更はできませんのでご注意ください。また、前期研修履修ポイントおよび後期研修ポイントは付与されません。

【申し込み・問い合わせ先】

鹿児島県理学療法士協会 スポーツ事業部 担当者：鹿児島大学保健学科 松 田 史 代
受付メールアドレス：pt2019kagoshimauniversity@gmail.com
（迷惑メール防止のため、送信時は(@)の()を外して送信ください）

研修会報告（西薩地区より）

西薩地区担当理事 山 中 純
地区長 大久保 鉄 男

○令和7年度 第1回西薩地区 研修会

テーマ：電気刺激療法の臨床応用

講師：中山 佳 祐 先生

会場：Web開催（ZOOM）

日時：令和7年6月27日 19：00 ～ 20：00

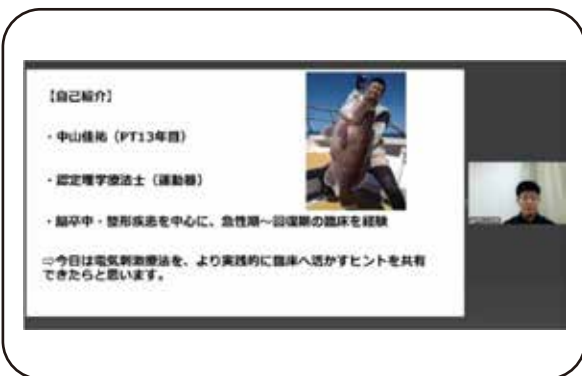
参加者：34名

令和7年第1回西薩地区研修会を開催しました。今回は「電気刺激療法の臨床応用」というテーマで、いちき串木野市医師会立脳神経外科センターの中山 佳祐先生にご講演頂きました。

電気刺激療法にも様々な種類があり中でも、TENS、NMES、FESについて詳しく、わかりやすくご説明頂きました。また、症例供覧もしていただき、臨床場面での実効果を拝見させて頂き、電気刺激療法の適応の広さを学ばせて頂きました。

34名の西薩地区内外の先生方にご参加いただき、皆様熱心に、中山先生のご講演に耳を傾けられておりました。講演時間も予定通り終了でき、非常にまとまった内容で有意義な時間になったかと思えます。

西薩地区では今年度引き続き皆様に有意義な研修会を開催する予定です。会員の皆様のご参加お待ちしております。



施設訪問

事務局業務執行理事 湯地 英 充

○県内の会員施設訪問を行い意見交換をいたしました

令和7年3月11日 日本理学療法士協会会長と鹿児島市内の会員施設を中心に施設見学・訪問を行わせていただきました。ご協力いただきました施設の先生方ありがとうございました。

これまで病院施設で勤務しているPTが多かったですが、働く環境も多様化し、様々な領域でPTの活躍する場面が増えているようです。短い滞在時間でしたがポイントを絞って教えていただき私自身大変勉強になりました。

現場の先生方のご意見として、福祉用具業者に療法士がいることでの強み、切れ目のない在宅でのリハ提供にもPTが専門的にアドバイスすることで退院前から介入の必要性もお聞きできました。また、養成校における教育場面やカリキュラム・国試対策についてJPTAを通じて意見してもらえようようお願いをお聞きしました。療育施設においては施設長も同席いただき現場のニーズと制度・行政とのギャップのはざままで起こる葛藤もお聞きすることができました。疾患別リハビリテーション料について現状差があることについて、現場での教育制度についても課題が多く、50人の定員を受け入れている病院に併設されたデイケアでは、リハマネ加算・関係書類の簡素化についての意見を頂戴しました。単科のクリニックでの効率化や電カル導入への対策などもお話ししました。また、吉野吉田地区施設の意見を取りまとめたものをご教示いただきました。協会に求めるもの・地域が育っていくために必要な活動を模索していると興味深いお話をお聞きしました



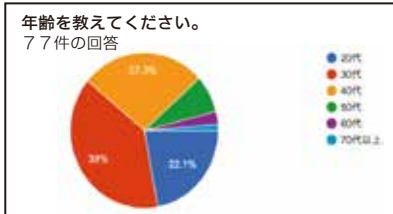
今回同じ理学療法士の仲間が働く環境を改めて知ることができ、また顔を合わせての会員通しのつながりを感じられ今後の県士会運営に活かしていく所存です。また機会をみてご挨拶に伺えたらと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

<訪問施設一覧>カクイックスウイング・鹿児島医療技術専門学校・育ち・谷山生協クリニック・わきた整形外科・吉野・吉田地区代表(福祉生活協同組合むぎのめ)

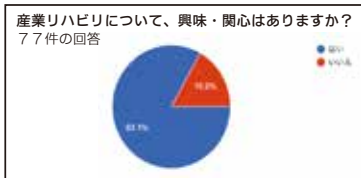
職能局ヘルスケア事業部 アンケート調査報告

職能局 理事 福永裕樹
 職能局 理事 福田秀文
 ヘルスケア事業部 部長 小野 恵

ヘルスケア事業部では、県民の健康延伸、産業理学療法、ウィメンズヘルスケアなど、さまざまな活動を行なっていきたいと考えております。今回、アンケート調査にて、職域拡大の可能性や院外での活動、産業理学療法、ウィメンズヘルスケア、メンタルヘルスケアなど理学療法士の興味関心、取り組みなどを調査し、県民の健康延伸への貢献、理学療法士の職域拡大の可能性を探ることを目的としました。令和7年1月29日～2月23日の期間で調査を実施し、結果、現在協会に在籍している幅広い年齢、経験年数の先生方から77名からの回答を得ることができましたので、以下にご報告させていただきます。

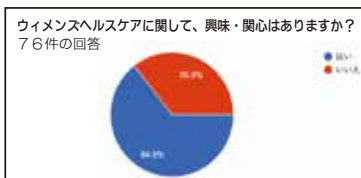


<産業理学療法>



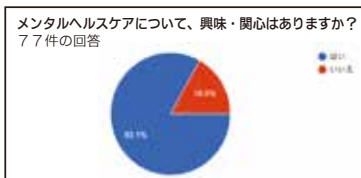
- * 産業理学療法に関わったことのある方の具体的内容(自由記載)
- ・所属地域での健康教室講師、体操の講師介護技術の指導や研修会等等
 - ・職場での腰痛や肩こり予防教室、ノーリフトケア、動作指導等
 - ・企業への健康経営セミナー、保健師向けのセミナー等

<ウィメンズヘルスケア>



- * ウィメンズヘルスにおいて携わったことのある方の内容(自由記載)
- ・地域で産後の女性向けの骨盤底筋エクササイズ等
 - ・マタニティヨガ

<メンタルヘルスケア>



- * メンタルヘルスケアにおいて携わったことのある方の内容(自由記載)
- ・精神科勤務経験あり
 - ・衛生委員会の活動を通じて

<ヘルスケア事業部に期待すること(自由記載)>

- ・各種(産業理学療法、ウィメンズヘルスケア、メンタルヘルスケア等)研修会の開催
- ・事例共有、先進地域の活動例など具体的な紹介
- ・顔の見えるネットワーク作り、特化したグループ等での意見交換の場が持ちたい
- ・休職や離職に至らないような相談窓口や教育・研修など
- ・自治体等と連携し女性を対象とした疾病予防の介入ができるようなモデル事業を期待します

この結果をもとに、更なる協会会員への情報提供やスキルアップ並びに県民に対しての貢献等なるよう、研修会やイベントの企画を検討していきたいと思います。調査へのご協力、誠にありがとうございました。今後ともよろしく願っています。

鹿児島県理学療法士協会 令和7年度研究助成採用決定について

学術支援部担当理事 木 山 良 二
部長 川 田 将 之

鹿児島県理学療法士協会令和7年度研究助成につきまして、審査の結果、以下の1件を採用決定しました。

研究課題名：霧島市で勤務するリハビリテーション専門職が感じる

若年性脳卒中者の復職・就労に対する意識調査

研究代表者：中 村 大 輔 先生（合同会社Smile Life）

令和8年度研究助成のお知らせ

鹿児島県理学療法士協会では、理学療法学研究を発展させることを目的に研究助成を行っています。学術的あるいは臨床的な発展を望めるような研究を支援したいと考えております。概要は以下のとおりで、申請方法等につきましては協会ホームページにて公開しますので、ご確認ください。

たくさんの申請をお待ちしています。

研究助成概要

助成金 上限10万円/件

予定採択件数 5件

申請書類の提出 令和8年1～2月頃（予定）

研究期間 令和8年4月～令和9年3月

採択結果の通知 令和8年4月頃（予定）



『理学療法かごしま』へのご投稿のお願い

業務執行理事 木 山 良 二
学術局学術部 部長 金 谷 親 好

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本協会にて発刊しております学術誌『理学療法かごしま』は、おかげさまで初版掲載より3年を迎えることができました。これもひとえに、協会員の皆様ならびに査読委員の皆様のご尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

『理学療法かごしま』は、鹿児島県理学療法士協会の会誌として、理学療法に関する学術的・実践的知見を広く共有し、理学療法のさらなる発展に寄与することを目的としております。会員の皆様が日々の臨床や研究活動を通じて得られた貴重な知見を発信する場として、ぜひ積極的にご活用いただければと存じます。

論文や症例報告、調査研究、臨床での実践例、現場での工夫など、幅広いテーマでのご投稿を歓迎しております。「まだ研究としては十分でないのではないか」とご不安な方も、まずは一步を踏み出していただければ幸いです。本誌は、会員相互の知識共有と学びの場でもありますので、皆様のご経験や取り組みが多く読者にとって大きな刺激となります。

投稿・執筆規定につきましては、協会ホームページにて公開しております。ご確認の上、ご投稿をぜひご検討ください。なお、採択された論文は、J-STAGEにて随時オンライン公開しております。また、本誌は、認定理学療法士および専門理学療法士の更新に必要な要件にも該当いたします。

今後とも『理学療法かごしま』へのご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。皆様からの多数のご投稿を心よりお待ちしております。

- ・ 投稿は随時受け付けております。なお、当該年度内に公開を予定している論文につきましては、6月30日までにご投稿いただいたものが対象となりますので、ご留意ください。
- ・ 県学会で発表された方には、後日、編集部よりご連絡を差し上げる場合がございます。

(一社)鹿児島県 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 連絡協議会

鹿児島県訪問リハビリテーション研究会からの研修案内

2025. 11. 15 (土)

鹿児島県訪問リハビリテーション実務者研修会

講 師：未定 (他職種 6名の講師陣)

会 場：オンライン 詳細は後日案内



私と私の職場

医療法人菊野会 菊野病院

谷口孝平

厳しい暑さが続いておりますが鹿児島県理学療法士協会会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

私が勤務する菊野病院は、南九州市川辺町にあり、地域の皆様への医療・介護・療育のサービスを提供しています。リハビリテーション部門では、一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、障害者施設等一般病棟に加え、外来、介護老人介護保険施設や通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションといった幅広い分野に対応しており、患者様の状態や生活環境に応じて、一貫した支援が行える体制づくりを行っています。

在籍するスタッフは、理学療法士60名、作業療法士13名、言語聴覚士9名、心理士3名、マッサージ師4名、リハビリ事務3名で構成されており、整形外科領域をはじめ、中枢神経疾患や神経難病、小児など、多様な対象への介入を行っています。

当院の特色のひとつに水治療法(プール)があり浮力や水の抵抗を活かした運動療法は、整形外科の術後や仙腸関節障害、変形性関節症、小児の発達支援など、様々な場面で活用されており、患者様の状態に合わせた柔軟なアプローチが可能です。また、近年は運動器エコーを取り入れた評価や治療にも取り組んでおり、視覚的情報を通して機能障害の把握や患者様への説明をより分かりやすく行えるよう努めています。

私は理学療法士9年目となり、現在は整形外科領域を中心に、急性期から生活期まで幅広く関わらせていただいています。また、地域の少年団を対象としたスポーツ障害予防講習会の開催にも携わっており、今後は院内でもスポーツリハビリテーションの体制づくりを進めていく予定です。

このように多様な分野に関わる機会をいただける環境は、理学療法士としての視野を広げる貴重な経験となっており、今後も地域に貢献しながら専門性を高めていけるよう精進してまいります。会員の皆様の更なるご活躍を、心よりお祈りいたします。



事務局だより

令和7年2月8日～令和7年7月7日現在受理分

学術誌

- 理学療法-技術と研究- 神奈川県理学療法士会会報 第53号 NO Limit Vol.100
- 理学療法ジャーナル 第59巻 第3号
- 鹿児島県医師会報 第885号
- 理学療法京都 第54号
- 鹿児島県医師会報 第886号
- 理学療法ジャーナル 第59巻 第4号
- 秋田理学療法 第32巻 第1号
- 岐阜県理学療法士会学術誌 第29号
- 全国における地域リハビリテーション体制の調査研究事業報告書
- 千葉県理学療法士会創立50周年記念誌
- 鹿児島県医師会報 第887号
- 四国理学療法士学会士 第46号
- 理学療法湖都 第44号
- 沖縄県理学療法士協会50周年記念誌
- 理学療法ジャーナル 第59巻 第5号
- 静岡理学療法ジャーナル 第49号
- 鹿児島県医師会報 第888号
- 理学療法ジャーナル 第59巻第6号
- 麻痺治療の未来を拓く促進反復療法
- 高知県理学療法 第32号
- 鹿児島県リハビリテーション施設協議会 第21巻
- 理学療法ジャーナル 第59巻 第7号

ニュース

- 愛知No.216 熊本No.147・148 滋賀No.226 山梨No.165
- 和歌山No.104 兵庫Vol. 206 秋田Vol. 216 広島No.281

<会員動向> (2/1～7/1定期承認まで)

入会94件 県内異動91件 転入12件 転出19件
 休会145件 休会継続402件 復会61件 退会16件
 会員動向に関する詳細は非公開とします。
 会員数 2494名 会員所属施設数 457施設

会長行動録

- 2月8日 県学会懇親会
- 2月9日 県学会・県議意見交換会
- 2月10日 3役会
- 2月12日 県士会理事会
- 2月22日 県高野連意見交換会
- 2月26日 原田学園訪問(入会促進説明)、
県養成校協議会会議

- 2月27日 県くらし保健福祉部打ち合わせ
- 3月1日 JPTA理事会傍聴
県リハ医学会世話人会・医学会・意見交換会
- 3月4日 南学園訪問(入会促進説明)
- 3月5日 南学園卒業式
- 3月7日 第一リハ訪問(入会促進説明)
- 3月9日 JPTA斉藤会長意見交換会
- 3月10日 3役会
- 3月11日 POS 鹿児島市意見交換
- 3月12日 県士会理事会
- 3月14日 県士会総会
- 3月15日 九州士会長会議
- 3月28日 県リハ施設協議会意見交換会
- 3月31日 POS理事会
- 4月6日 JPTA組織運営協議会
- 4月7日 3役会
- 4月9日 県士会理事会
- 4月10日 政策企画部会
- 4月18日 鹿児島高次脳機能研究会世話人会
- 4月20日 新人理学療法士入会促進説明会
- 4月30日 県議意見交換会
- 5月1日 3役会
- 5月12日 県議意見交換会(小児学校保健・妊産婦サポート)
3役会
- 5月14日 県士会理事会
- 5月20日 POS理事会
- 6月7日 JPTA代議員総会・授賞式・代議員研修会
- 6月8日 JPTA代議員総会
- 6月9日 3役会
- 6月10日 県士会理事会
- 6月13日 県訪問看護ステーション協議会理事会
- 6月20日 県リハ施設協議会総会
- 6月24日 POS総会
- 7月7日 3役会
- 7月8日 地区リーダー会議
- 7月9日 県士会理事会
- 7月12日 九州理学療法士サミット
- 7月14日 県障害者介護給付費等不服審査会総会
かごしまJRAT総会
- 7月18日 鹿児島地区意見交換会
- 7月24日 県地域医療介護総合確保基金(介護分)委員会
- 7月31日 士会事務局打ち合わせ

編集後記

毎日本当に暑い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？私は動物園が好きで、よくキリンやホワイトタイガーなどを見にいっています。今年こそは夜の平川動物公園に行ってみたいなと思っています。まだまだ暑い日が続きますので、こまめに水分や塩分を補給し、熱中症にご注意ください。

今後もより良いものを発信していけるよう努めて参ります。広報誌に関してご意見等ございましたら、気兼ねなく広報部までご連絡を宜しくお願ひします。

rihabiri@gyokusyokai.com

広報部 丸山元大